

神戸大学
データ資料集
2019

抜粋版

— データと資料が語る

神戸大学の今の姿 —



目次 - 抜粋版 -

概要

1. 概要・ランキング … 1

教育

3. 学部一般選抜志願状況 … 3
4. 入学状況 -学部- … 4
5. 入学状況 -大学院- … 5
7. 進路・就職状況 … 6

研究

10. 国際的な研究論文 … 10
11. 科学研究費 … 12
13. 研究プログラムの採択状況 … 14

産学官連携

15. 産学官連携状況 … 15

国際

19. 留学 … 17
20. 海外大学との交流状況 … 18
21. 研究者等交流状況 … 19

教職員

27. 教員 … 20

財務

29. 財務 … 21

表紙写真：百年記念館（神大会館）
表紙裏写真：出光記念六甲台講堂

1. 概要・ランキング

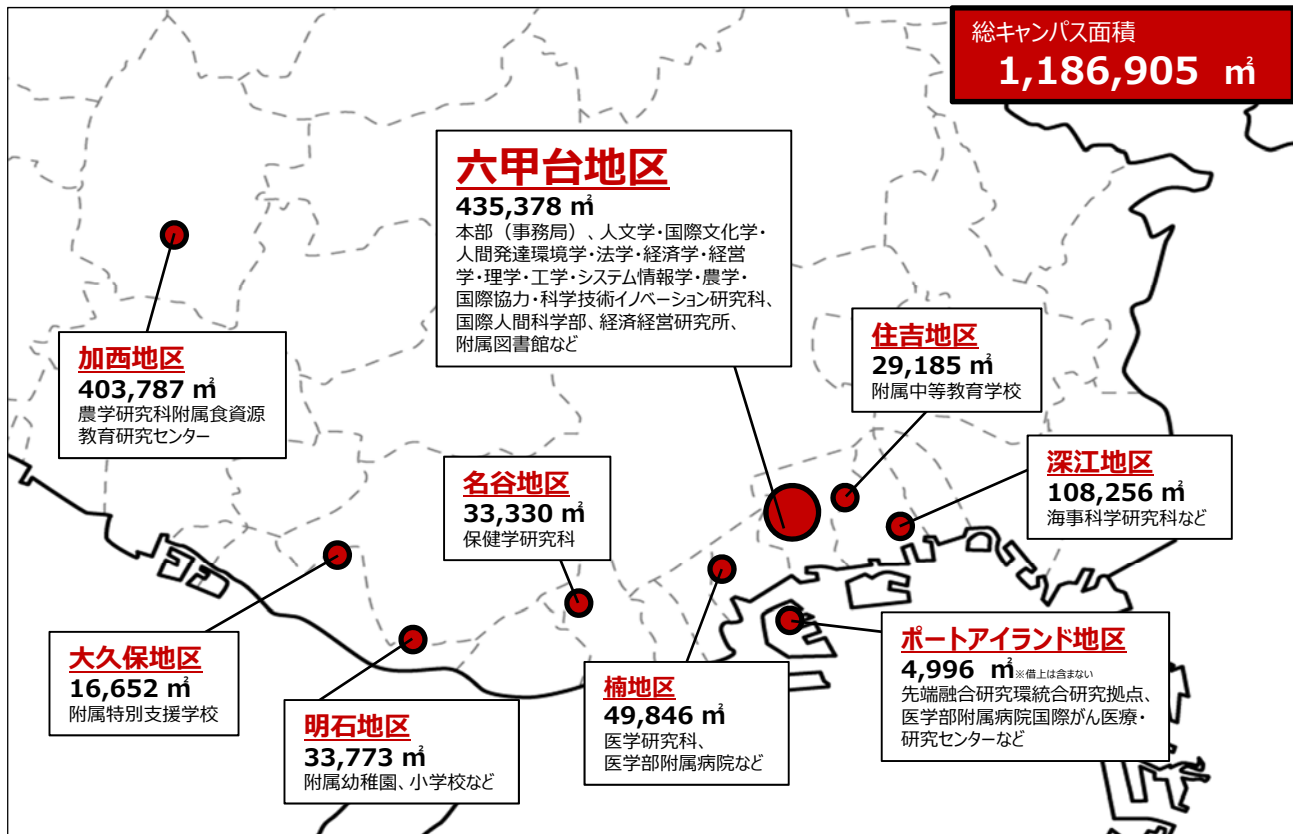
1-1 神戸大学の概要

2019年5月1日現在

区 分		入学定員 (※1)	入学者数	総定員	在籍者数 (女子内数)		
学 生 等 数	学部	2,670	2,729	10,656	11,577	(4,245)	
	大 学 院	修士課程・博士課程前期課程	1,258	1,214	2,512	2,710	(951)
		博士課程・博士課程後期課程	395	320	1,263	1,632	(534)
		専門職学位課程	149	140	378	307	(87)
	合計	4,472	4,403	14,809	16,226	(5,817)	
	外国人留学生数	学部生 (内数)		大学院生 (内数)	研究生等	計	
		119	918	362	1,399	(743)	
附属学校	学級数		在籍者数 (※2)				
	47		1363 [60]				
区 分		教員数 (※4)	附属学校教諭	その他職員数	計		
教 職 員 数 (※3)		1,550	111	2,035	3,696		
	女性教職員数	257	52	1,350	1,659		
	女性比率	16.6%	46.8%	66.3%	44.9%		
予算規模		2019年度 約748億円 (うち運営費交付金等 約210億円)					

※1：入学定員は編入学定員を含む。 ※2：在籍者数の[]は、帰国子女数を内数で示す。
 ※3：教職員数は休職者を除く現員数。 ※4：教員数は役員及び特別顧問を含む。

1-2 主要キャンパス



学外オフィス等 [国内] 神戸大学東京オフィス、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ (大阪)
 [海外] 神戸大学中国事務所 (北京)、神戸大学ブリュッセルオフィス

1-3 神戸大学の位置

◆大規模13大学間◆

※国立大学間で学部入学定員の上位13大学を「大規模13大学」と定義する。

学部

大学名	入学定員	学部数
大阪大学	3,255	11
東京大学	3,063	10
京都大学	2,823	10
九州大学	2,555	12
神戸大学	2,530	10
北海道大学	2,485	12
東北大学	2,396	10
広島大学	2,338	12
千葉大学	2,317	10
新潟大学	2,242	10
岡山大学	2,195	11
名古屋大学	2,107	9
筑波大学	2,102	9

(2019)

大学院

大学名	入学定員	入学定員 (M)	入学定員 (D)	入学定員 (P)	大学院数
東京大学	4,925	2,843	1,697	385	15
京都大学	3,732	2,287	1,111	334	18
大阪大学	3,032	2,025	927	80	16
九州大学	2,668	1,748	780	140	18
東北大学	2,667	1,773	774	120	15
名古屋大学	2,413	1,634	729	50	13
筑波大学	2,396	1,651	679	66	8
北海道大学	2,367	1,608	659	100	21
東京工業大学	2,151	1,544	567	40	6
神戸大学	1,802	1,258	395	149	15
広島大学	1,561	1,028	493	40	11
千葉大学	1,283	955	268	60	7
岡山大学	1,125	785	271	69	8

(2019)

◆世界ランキングによる比較◆

QS社・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	22
2	京都大学	33
3	東京工業大学	58
4	大阪大学	71
5	東北大学	82
6	名古屋大学	115
7	北海道大学 九州大学	132
9	早稲田大学	196
10	慶應義塾大学	200
11	筑波大学	270
12	広島大学	334
13	東京医科歯科大学	359
14	神戸大学	395

(2019-2020)

QS社・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	13
2	京都大学	15
3	東京工業大学	17
4	大阪大学	22
5	東北大学	23
6	名古屋大学	28
7	北海道大学	29
8	九州大学	30
9	早稲田大学	38
10	慶應義塾大学	41
11	筑波大学	49
12	神戸大学	64
13	広島大学	74
14	一橋大学	81
15	東京医科歯科大学	105

(2019-2020)

上海交通大学・世界大学学術ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	25
2	京都大学	32
3	名古屋大学	90
4	東北大学 東京工業大学	101-150
6	北海道大学 大阪大学	151-200
8	九州大学 筑波大学	201-300
10	慶應義塾大学	301-400
13	神戸大学 千葉大学 岡山大学 東京理科大学	401-500

(2019)

THE誌・アジア大学ランキング

順位	大学名	アジア順位
1	東京大学	8
2	京都大学	11
3	東京工業大学	30
4	東北大学	31
5	名古屋大学	34
6	大阪大学	40
7	九州大学	58
8	東京医科歯科大学	66
9	北海道大学	68
10	藤田医科大学	74
11	筑波大学	76
12	帝京大学	78
13	首都大学東京	80
14	日本医科大学	116
15	横浜市立大学	127
16	慶應義塾大学	138
17	立教大学	147
18	広島大学	148
19	神戸大学	156

(2019)

THE誌・世界大学ランキング

順位	大学名	世界順位
1	東京大学	36
2	京都大学	65
3	東北大学 東京工業大学	251-300
5	名古屋大学 大阪大学	301-350
7	産業医科大学	351-400
8	藤田医科大学 北海道大学 九州大学 帝京大学 東京医科歯科大学 筑波大学	401-500
14	関西医科大学 横浜市立大学	501-600
16	神戸大学 他9大学	601-800

(2019-2020)

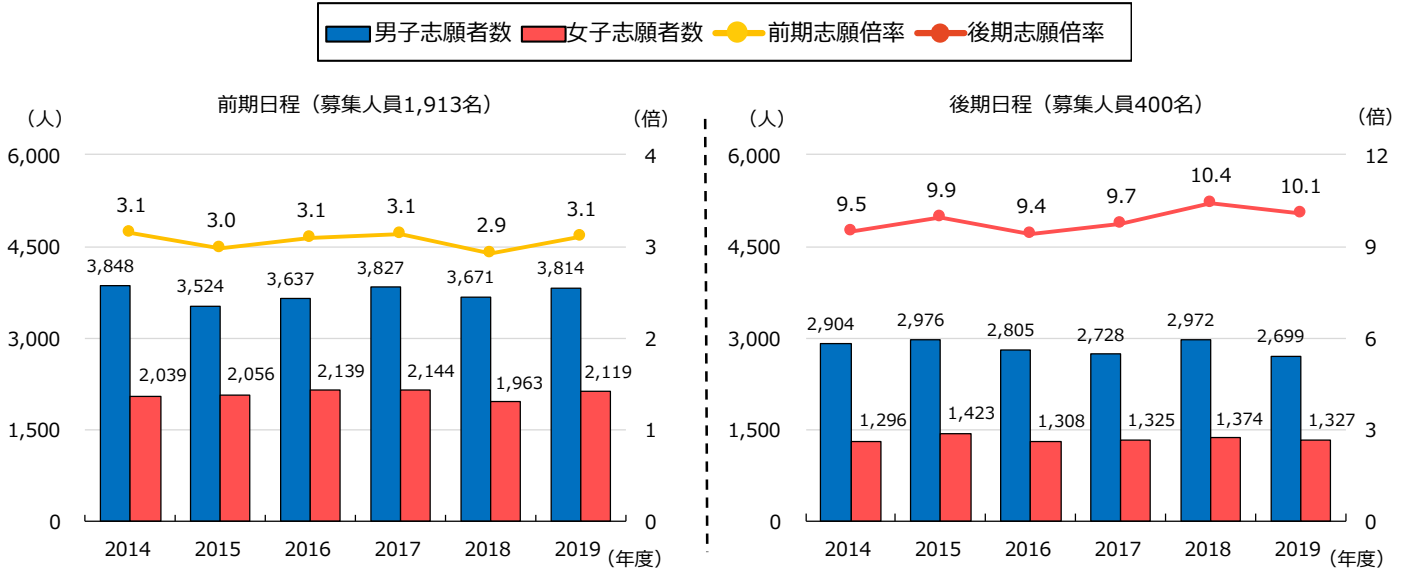
出典:各発表機関ウェブサイト

※「-」についてはその順位グループに属していることを示している。(例:「201-300」は、201位から300位のグループ)

3. 学部一般選抜志願状況

3-2 学部一般選抜志願状況（日程別・男女別推移）

- 前期日程は3倍程度、後期日程は10倍程度の志願倍率を推移しており、安定して志願者を確保している。
- 志願者の男女比については、年度によってやや差があるものの、概して2対1の割合で推移している。

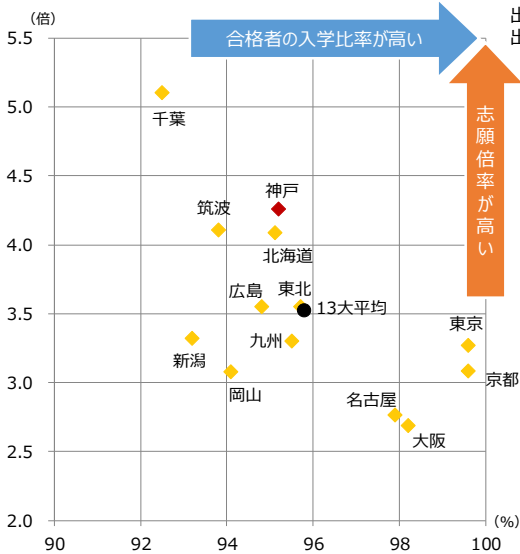


※各日程の募集人員は2019年度の数値を記載している。その他の各年度の募集人員は以下のとおり。
 2014-2015 前期：1,874名 後期：443名 2017 前期：1,905名 後期：417名
 2016 前期：1,869名 後期：438名 2018 前期：1,925名 後期：417名

3-3 全国の大学の志願状況及び入学定員

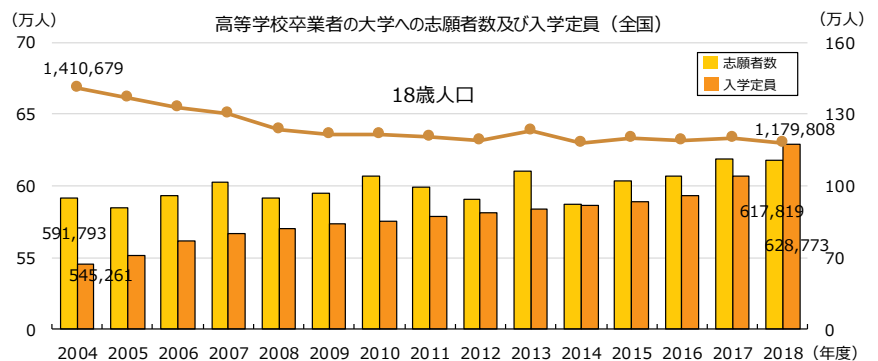
◆大規模13大学の状況（2018年度入試）

大学名	北海道	東北	筑波	千葉	東京	新潟	名古屋	京都	大阪	神戸	岡山	広島	九州	13大学平均
募集人員	2,411人	1,872人	1,476人	2,109人	2,960人	1,752人	1,739人	2,668人	2,929人	2,342人	1,691人	2,020人	2,341人	2,178人
志願者数	9,849人	6,640人	6,064人	10,756人	9,675人	5,816人	4,805人	8,233人	7,867人	9,980人	5,203人	7,175人	7,725人	7,676人
志願倍率	4.1	3.5	4.1	5.1	3.3	3.3	2.8	3.1	2.7	4.3	3.1	3.6	3.3	3.5
合格者の入学率	95.1%	95.7%	93.8%	92.5%	99.6%	93.2%	97.9%	99.6%	98.2%	95.2%	94.1%	94.8%	95.5%	95.8%



出典（募集人員・志願者数・志願倍率）：平成30年度国公立大学入学者選抜の志願状況，大学入試センターHP
 出典（合格者の入学率）：朝日大学ランキング2020（※北海道大学はHPの入試結果より算出）

◆全国の大学志願者数および入学定員（推移）



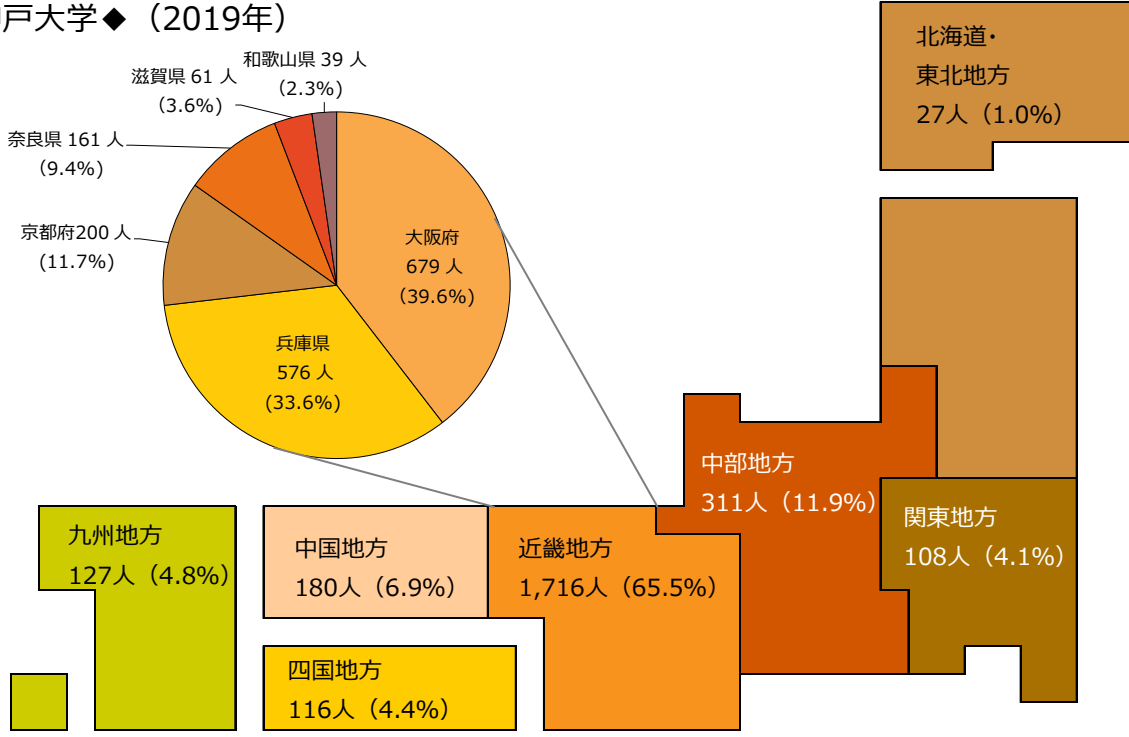
※18歳人口：3年前の中学校卒業生及び中等学校前期課程修了者より推定
 出典：（志願者数）文部科学省 学校基本調査（入学定員）全国大学一覧

4. 入学状況 - 学部 -

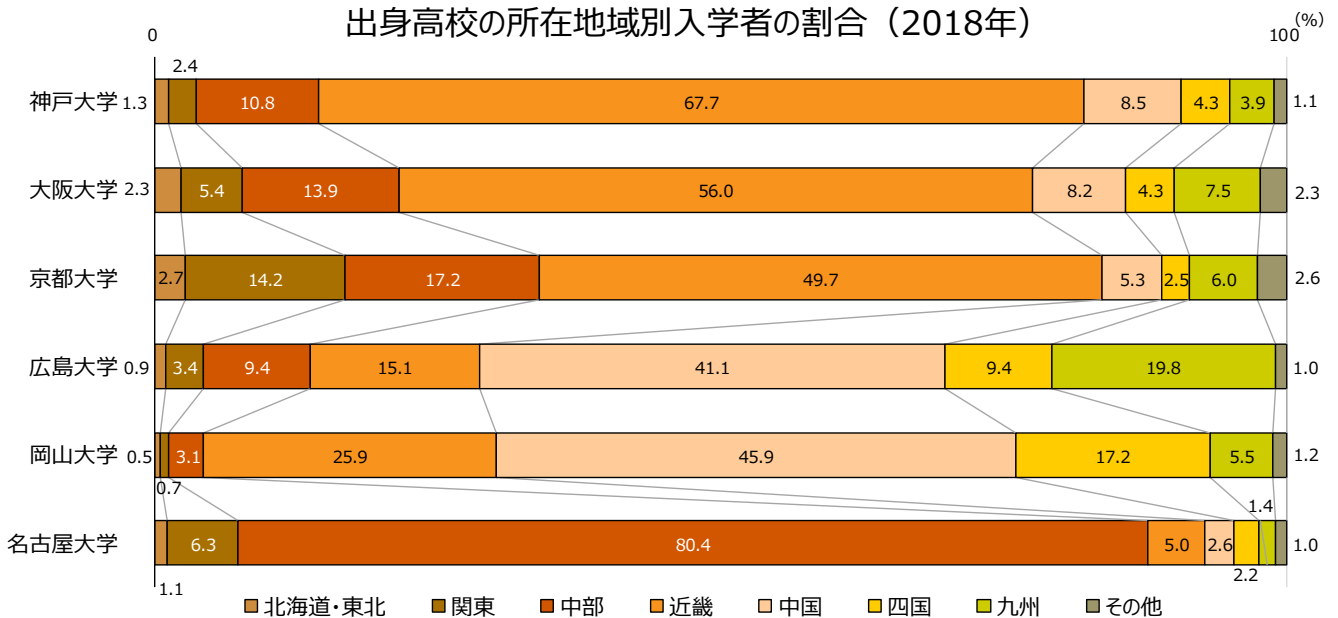
4-1 出身高校の所在地別入学者状況

○ 神戸大学では入学者のおよそ3分の2を近畿地方の高校出身者が占めており、うち7割以上が大阪府または兵庫県に所在する高校の出身者である。

◆神戸大学◆ (2019年)



出身高校の所在地別入学者の割合 (2018年)



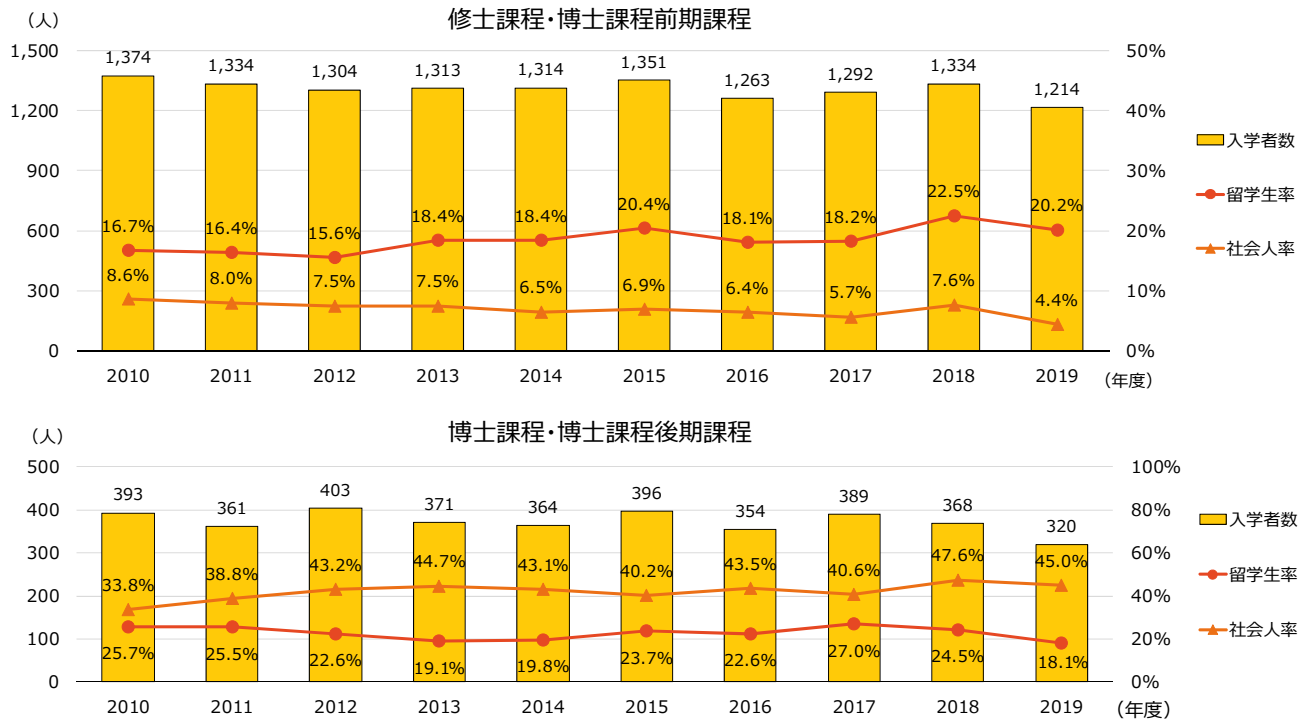
- 【北海道・東北地方】北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
- 【関東地方】群馬県、茨城県、千葉県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県
- 【中部地方】新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、山梨県、岐阜県、愛知県、静岡県、三重県
- 【近畿地方】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 【中国地方】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【四国地方】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【九州地方】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- 【その他】外国の学校等

出典：大学改革支援・学位授与機構 大学基本情報「(8-G) 出身高校の所在地別入学者数」
 ※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

5. 入学状況 — 大学院 —

5-1 大学院入学状況

◆神戸大学◆ ※2010～2018年度は春入学者及び秋入学者、2019年度は春入学者のみを計上している。

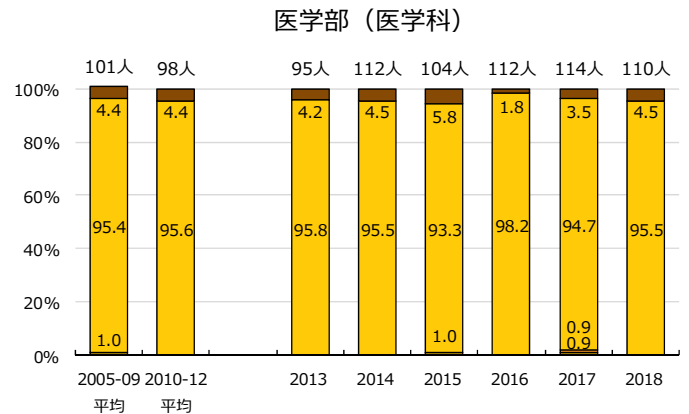
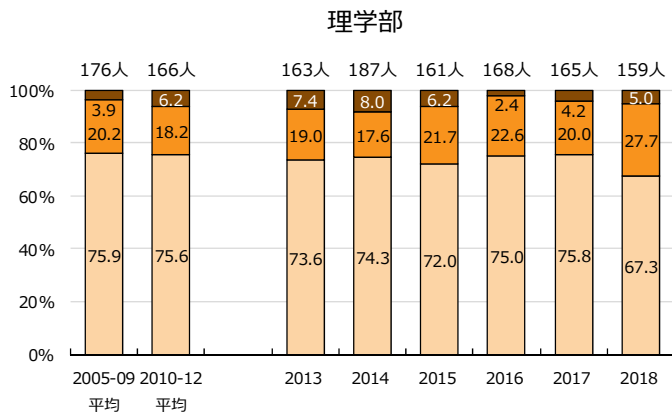
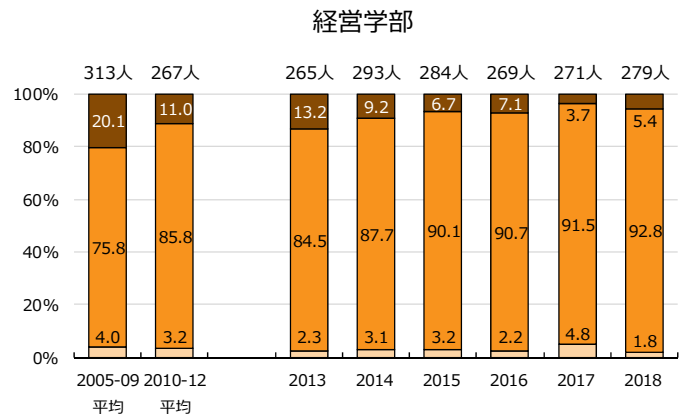
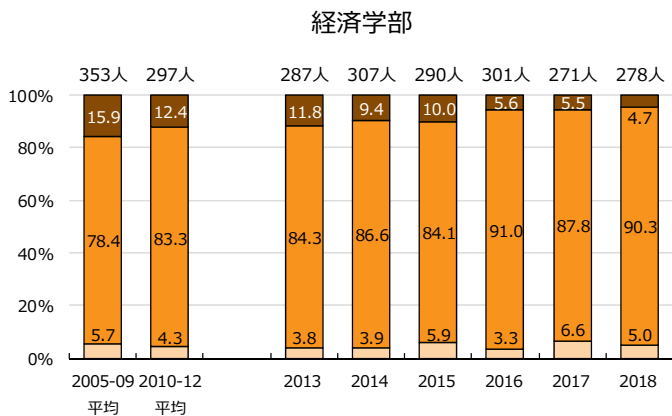
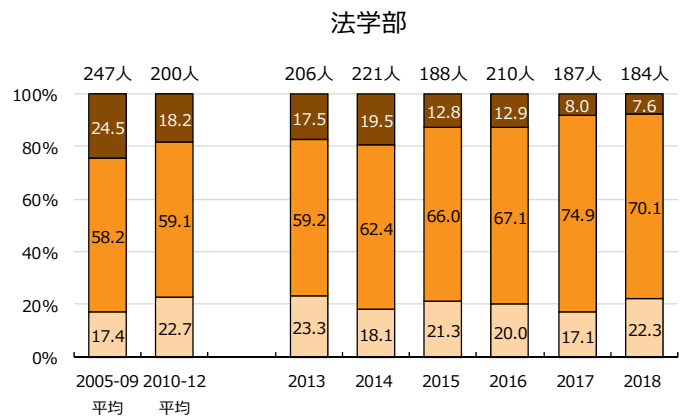
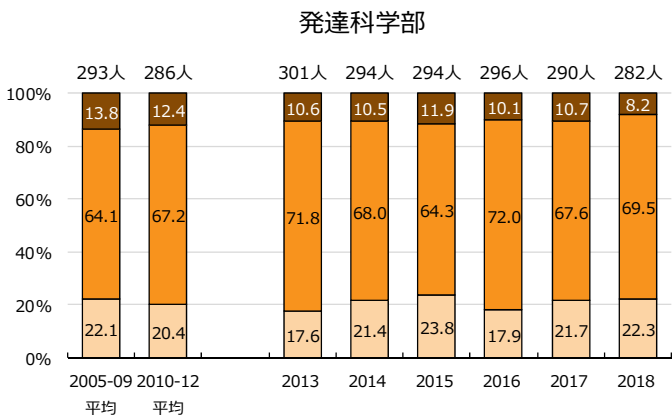
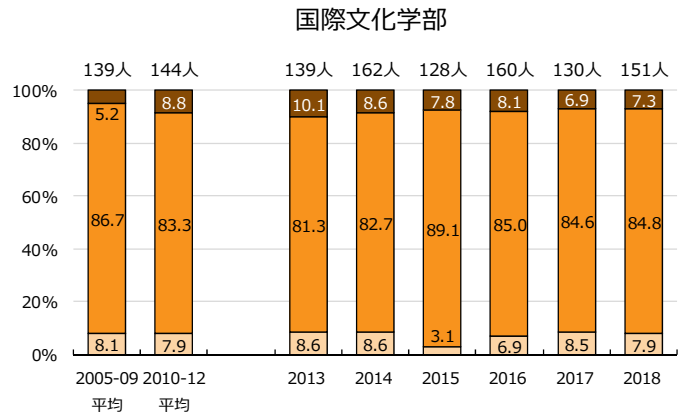
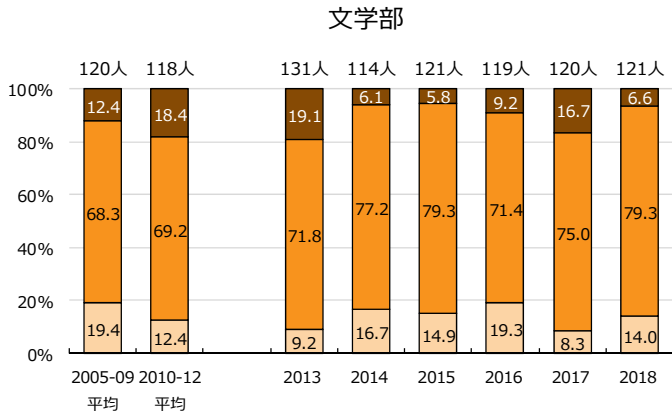


7. 進路・就職状況

7-2 学士課程卒業生の学部別進路・就職状況

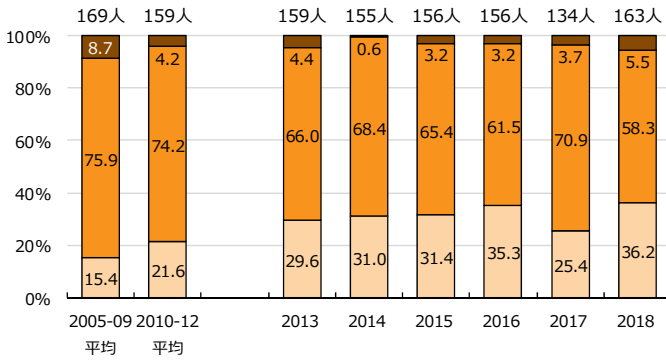
◆神戸大学◆ (学士課程 卒業年度)

※2012年度以前は、第一期(2004~2009)、第二期前半(2010~2012)の平均値。

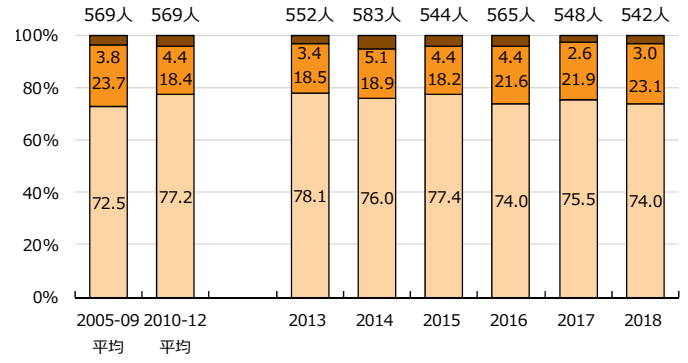


※2005-2009平均、2015の「1.0%」は進学者、2017の「0.9%」は進学者と就職者。

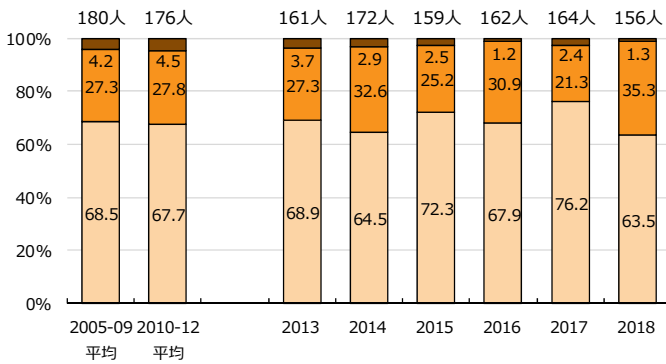
医学部（保健学科）



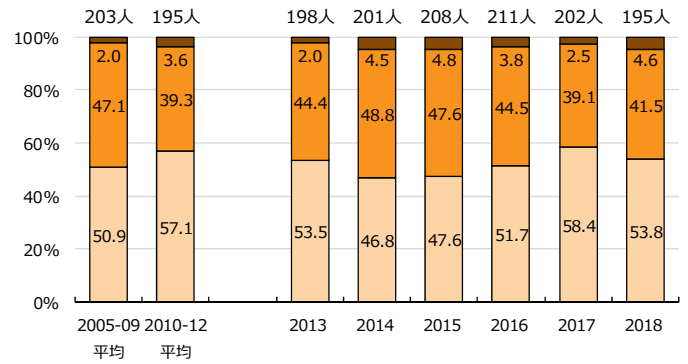
工学部



農学部



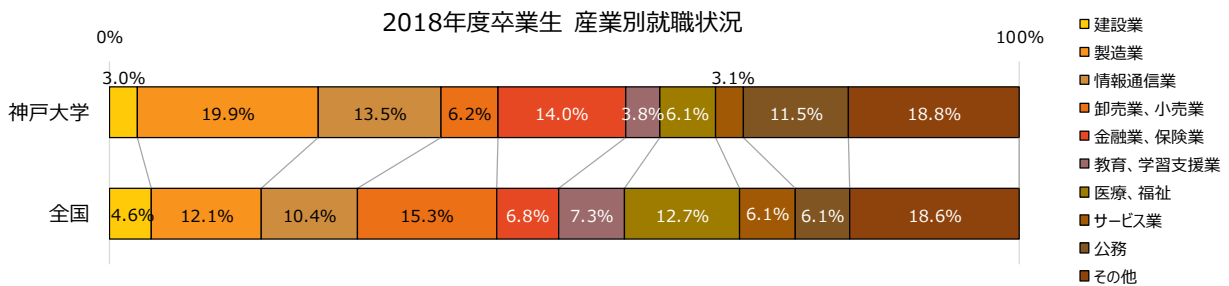
海事科学部



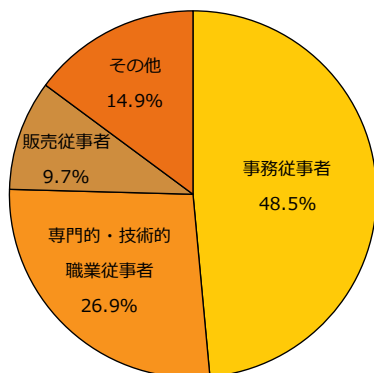
※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

7-3 学士課程卒業生の産業別・職業別就職状況

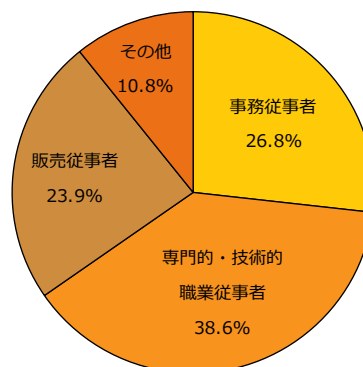
○ 全国と比較して、産業別では「製造業」、「金融業、保険業」、「公務」に、職業別では「事務従事者」にそれぞれ就職している割合が高い。



職業別（神戸大学）



職業別（全国）



出典：文部科学省 学校基本調査 (2019年8月時点速報値)

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

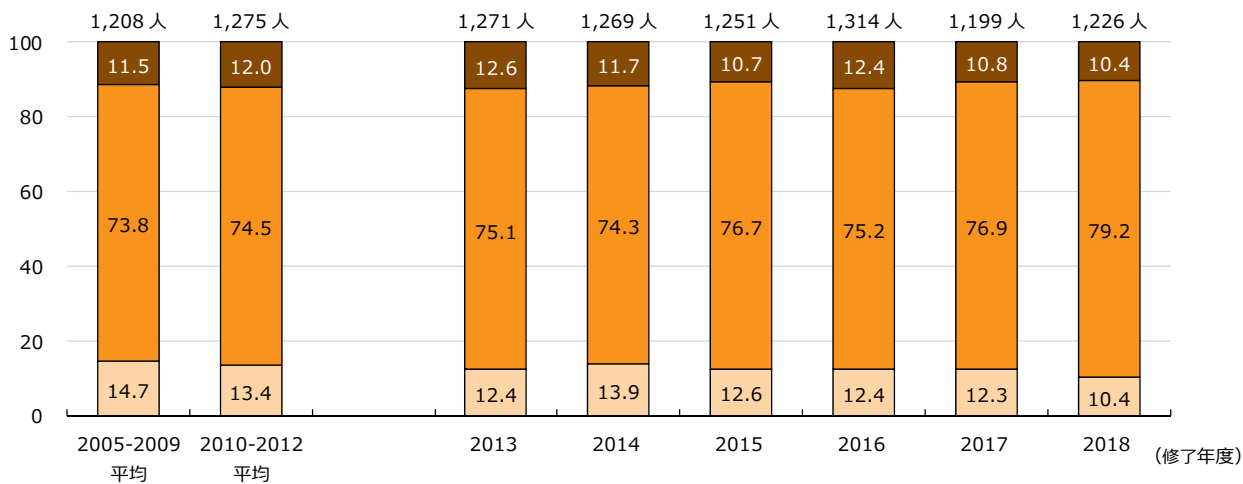
7-4 修士課程・博士課程前期課程修了生の進路・就職状況

進学者
 就職者
 その他

※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「一時的な仕事に就いた者」、「就職準備中の者」「進学準備中の者」を含む。

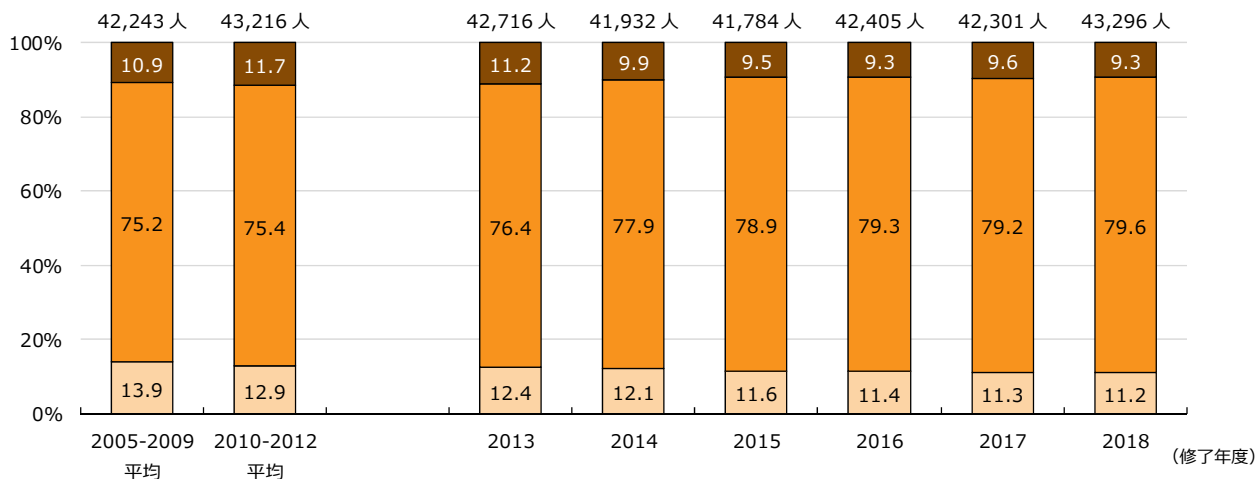
※2012年度以前は、第一期（2004～2009）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

神戸大学

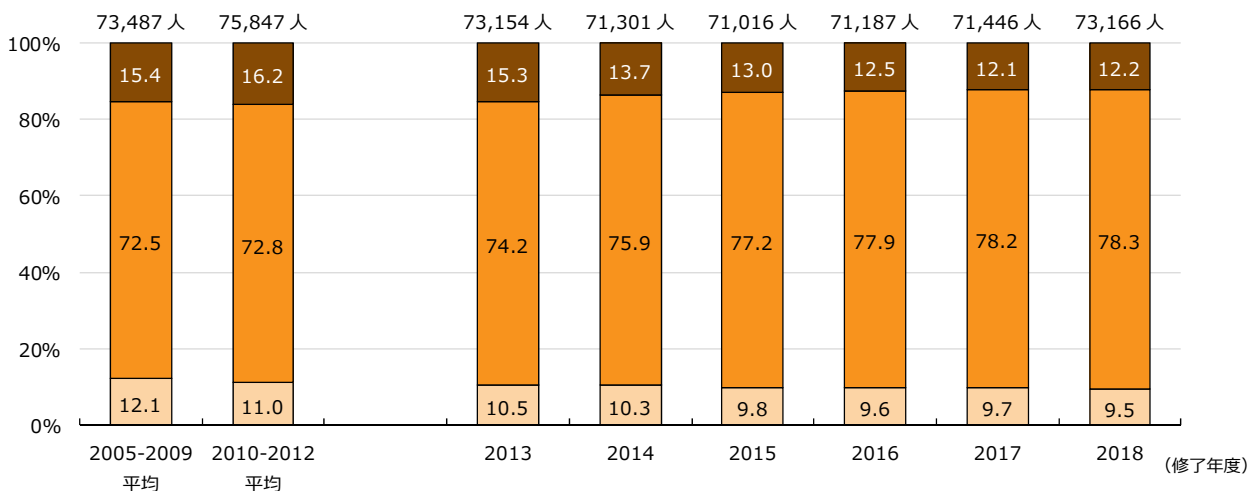


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても含む。

国立大



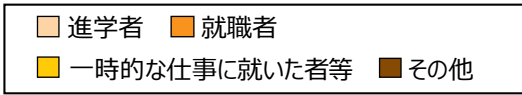
全国



出典：文部科学省 学校基本調査（国立大および全国の2018年度の値は2019年8月時点の速報値）

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

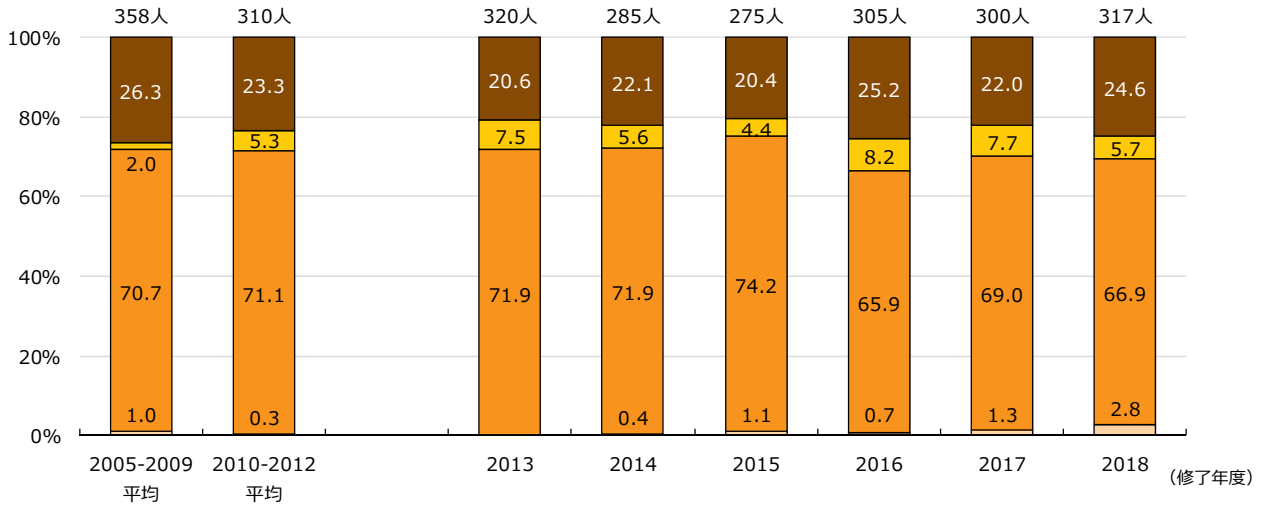
7-7 博士課程・博士課程後期課程修了生の進路・就職状況



※「進学者」には「専修学校・外国の学校等に入学した者」を含む。
 ※「一時的な仕事に就いた者等」には「臨床研修医」を含む。
 ※「進学者のうち就職している者」は「進学者」としてカウントし、「就職者」には含まない。
 ※「その他」には「就職準備中の者」、「進学準備中の者」を含む。

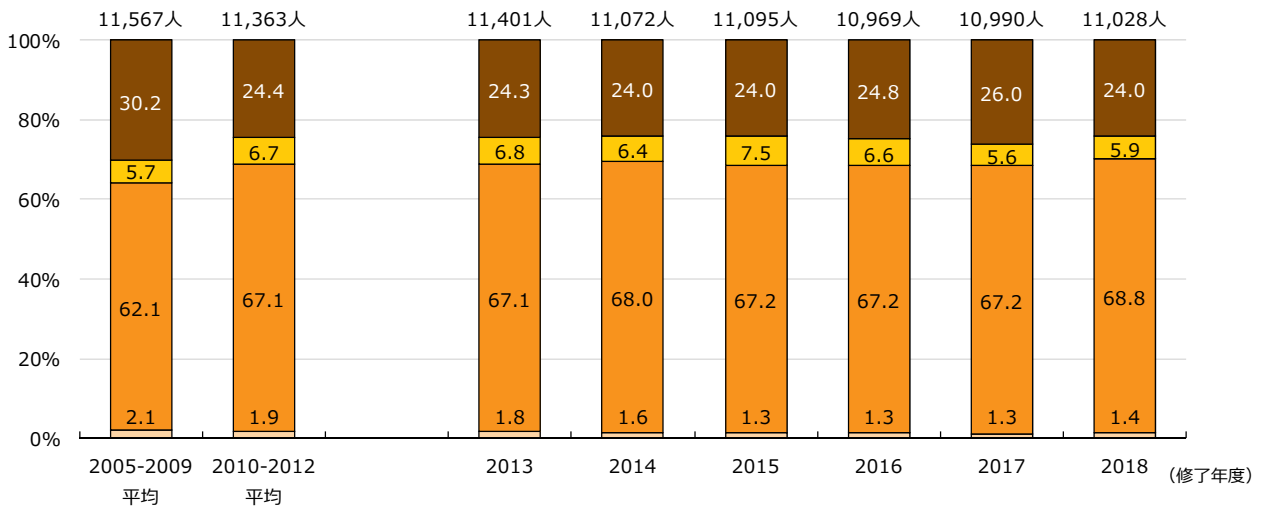
※2012年度以前は、第一期（2004～2009）、第二期前半（2010～2012）の平均値。

神戸大学

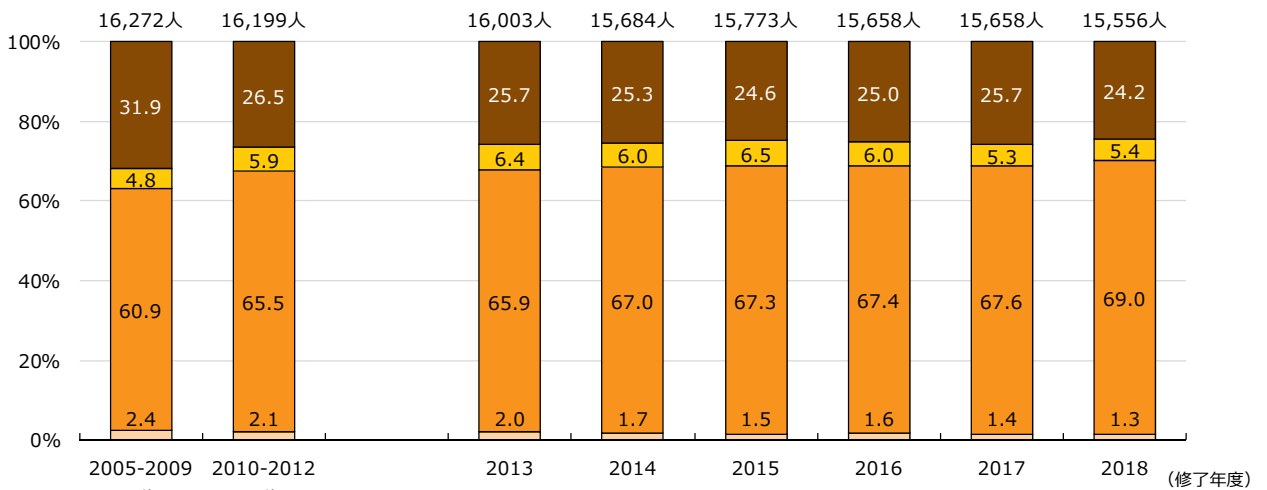


※文学研究科、総合人間科学研究科、自然科学研究科（いずれも2007年度入試より募集停止）、医学系研究科（2008年度より募集停止）の修了生についても計上。

国立大



全国



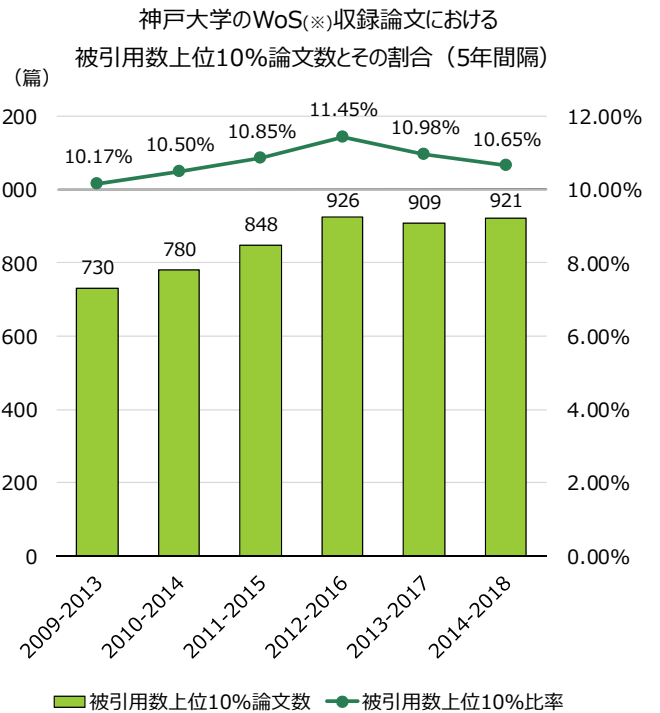
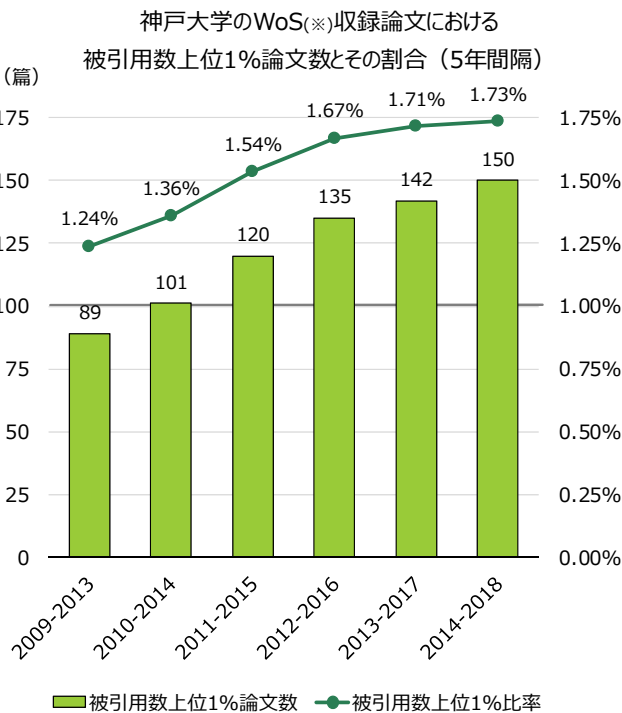
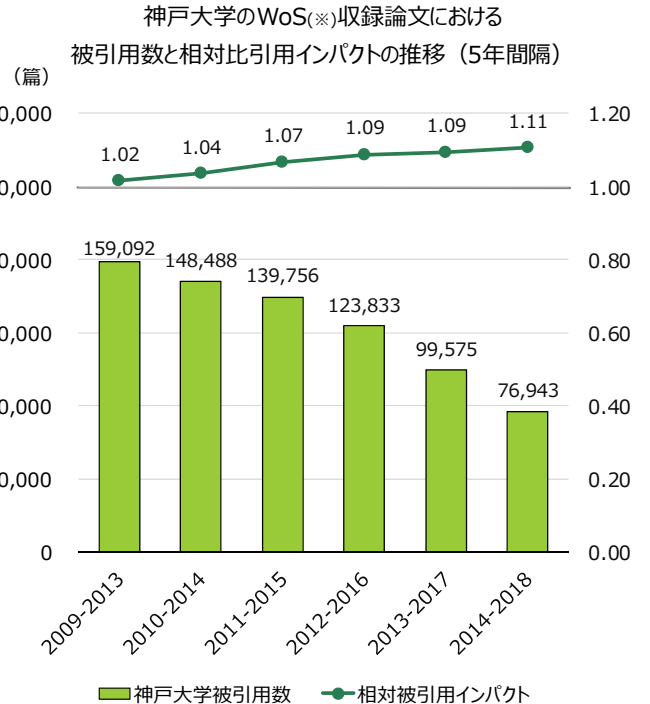
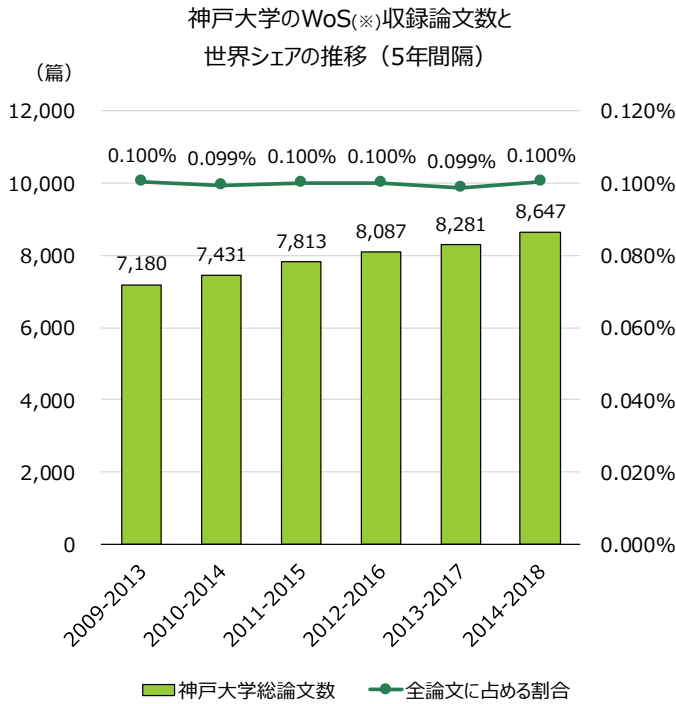
出典：文部科学省 学校基本調査（国立大および全国の2018年度の値は2019年8月時点の速報値）

※小数第二位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならないものもある。

10. 国際的な研究論文

10-2 論文の量と質についての比較 - 推移 -

- 総論文数は増加傾向にあり、世界シェアは0.1%前後を維持している。
- 被引用数は、過去の論文であるほど増えるため傾向を一概には読み取れないが、被引用数上位1%論文数は増加傾向にあり、本学の総論文数における割合も最新の比較では世界平均を0.73%ポイント上回っている。



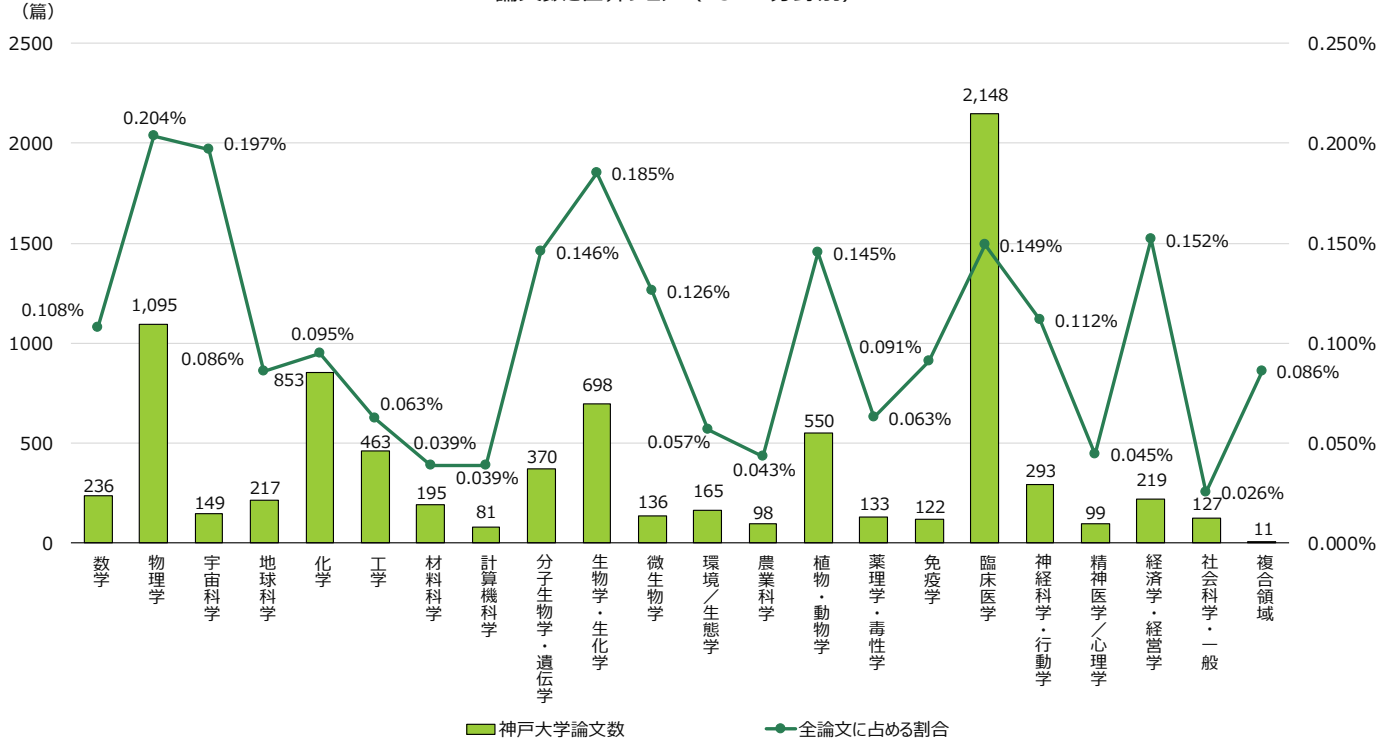
出典：引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」によりWoS(※)収録論文の2つのドキュメントタイプ (Article, Review) のデータについて、5年間の累計値を分析した。なお、本データは2019年7月31日現在の数値である。
 ※「WoS」=「Web of Science™」の略。

○相対被引用インパクト：各分野における1論文あたりの被引用数を世界平均1.0とした場合の相対的な割合を示す数値。

10-3 論文の量と質についての比較 - ESI22分野別 -

- InCites™を用いて、本学の研究をESI22分野別に比較した結果である。
- 相対被引用インパクトが世界平均1.0を超える分野は学術的影響力の高い研究成果が生まれていることを示している。

論文数と世界シェア (ESI22分野別)



被引用数と相対被引用インパクト (ESI22分野別)

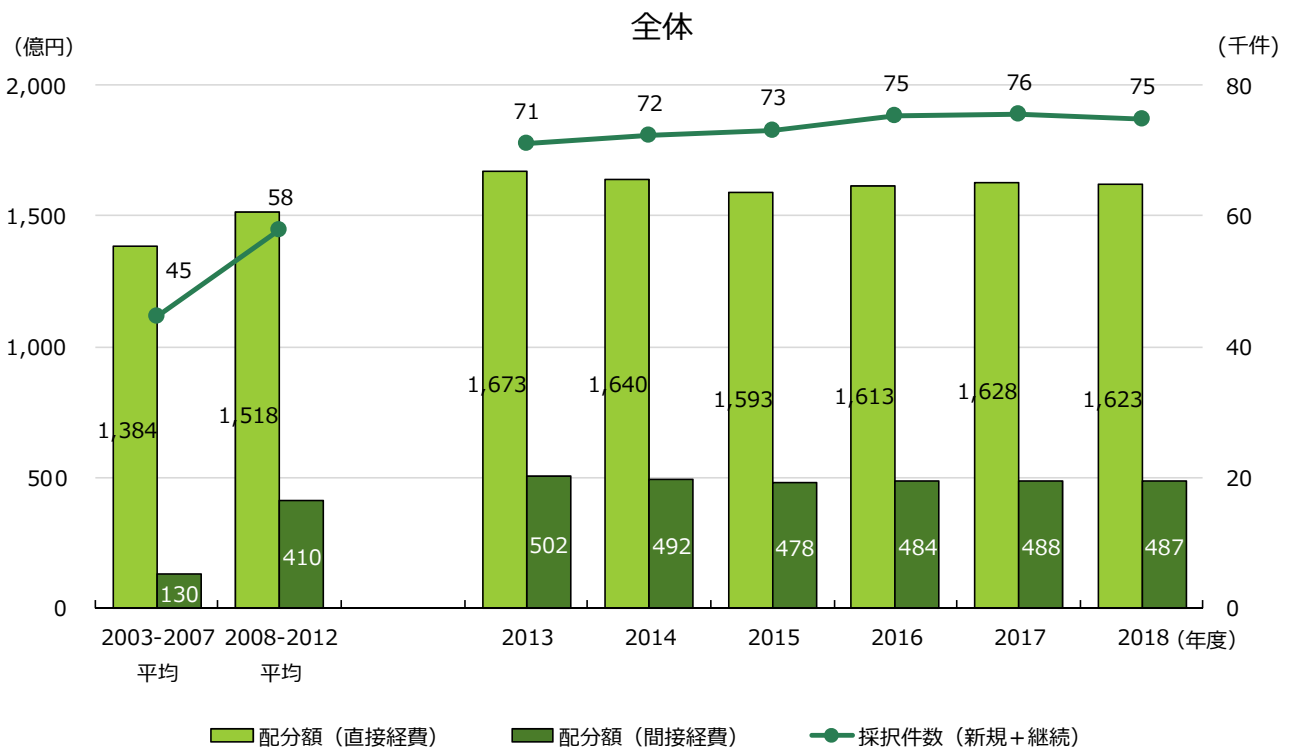
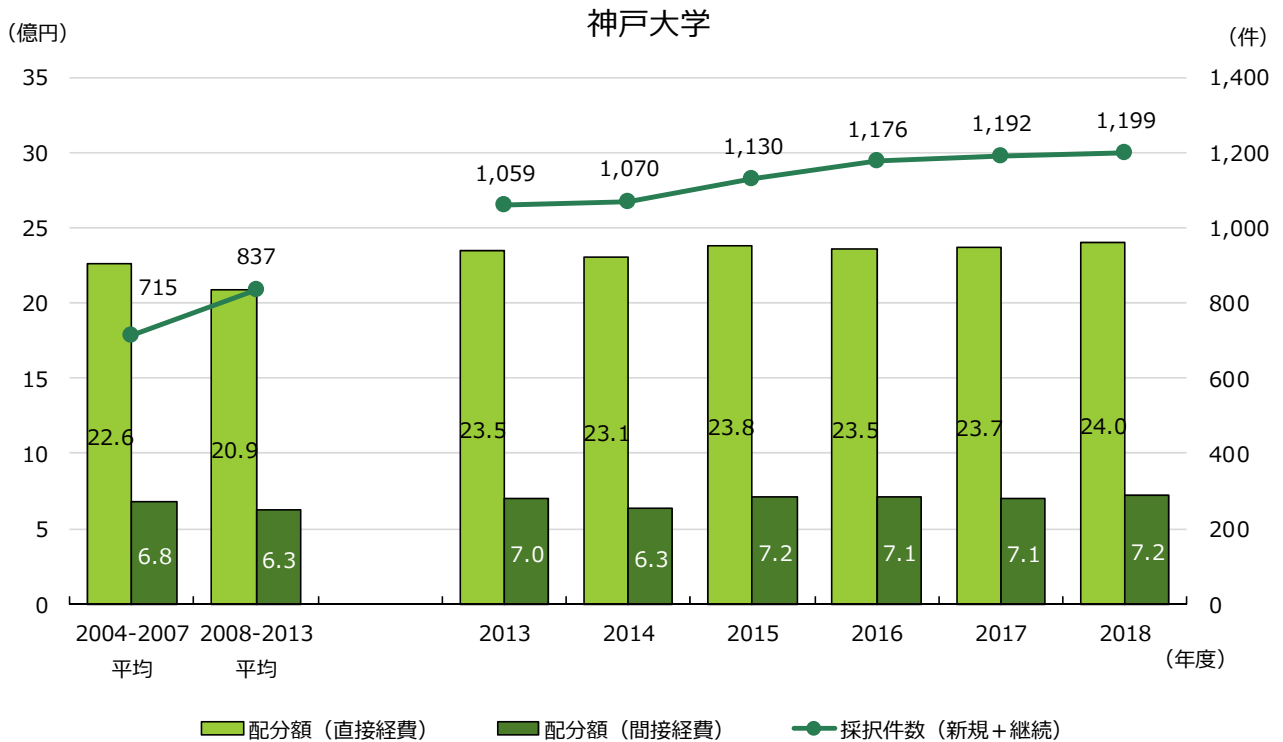


※引用文献に基づく研究評価ツール「InCites™」により、2014～2018年の2つのドキュメントタイプ (Article, Review) の論文について、「Essential Science Indicators™」の22分野別でデータを分析した。なお、本データは2019年7月31日現在の数値である。

11. 科学研究費

11-3 科学研究費助成事業採択状況 — 推移 —

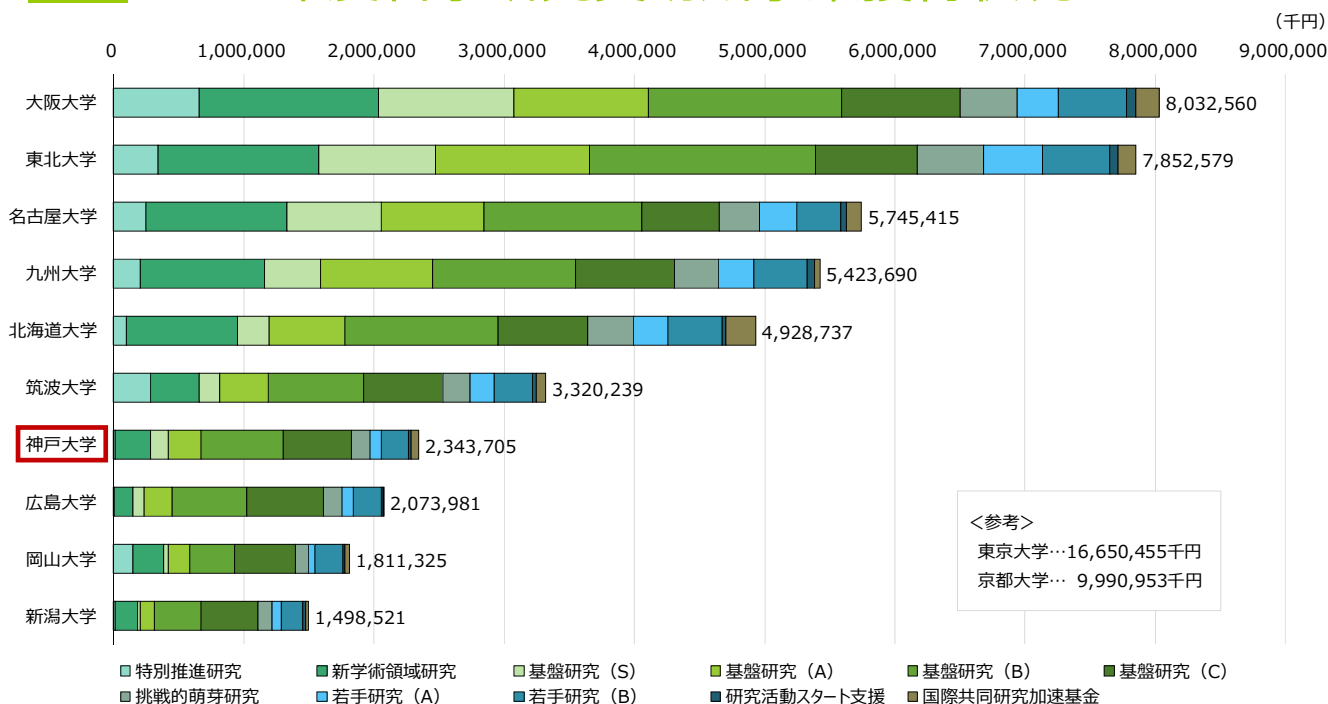
○ 2014年度以降、科学研究費助成事業全体の傾向として緩やかな伸びになっており、本学も類似した傾向にある。



※科学研究費のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」、「基盤研究」、「挑戦的萌芽研究」（※2017年以降は「挑戦的研究）」、「若手研究」、「研究活動スタート支援」について集計した。

出典：文部科学省HP掲載「科学研究費補助金 配分結果」

11-2 2017年度科学研究費助成事業獲得状況



※学生収容定員1万人以上の国立大学法人を比較対象とし、各大学財務諸表（2017年度版）より科学研究費の明細が示されているものを集計した。
 ※配分額は直接経費相当額のみを示しており、研究分担者分も含む。

11-7 2018-2019年度科学研究費助成事業新規採択状況

大区分	(研究分野)	中区分数	中区分別採択数上位10機関に本学がランクインしている中区分名	順位	新規採択件数 (件)	配分額 (直接経費) (千円)
A	(人文学・社会科学)	10	思想、芸術およびその関連分野	8	18.0	20,700
			法学およびその関連分野	4	28.0	45,300
			政治学およびその関連分野	5	14.3	31,983
			経済学、経営学およびその関連分野	3	65.0	115,600
B	(数物系科学)	7	解析学、応用数学およびその関連分野	9	13.0	17,300
C	(工学系科学)	8	建築学およびその関連分野	9	11.0	22,500
			航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	10	7.0	24,200
			社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	8	7.0	23,900
D		7	化学工学およびその関連分野	7	15.0	70,500
			応用物理工学およびその関連分野	9	5.0	19,500
E	(化学)	6	物理化学、機能物性化学およびその関連分野	8	10.0	40,300
F	(農学・環境学)	5	生産環境農学およびその関連分野	7	16.0	49,500
			社会経済農学、農業工学およびその関連分野	6	12.0	34,000
K		2	—	—	—	—
G	(生物系科学)	4	—	—	—	—
H	(医歯薬学)	3	生体の構造と機能およびその関連分野	9	14.0	38,900
I		11	内科学一般およびその関連分野	8	51.0	74,600
			生体情報内科学およびその関連分野	8	25.0	49,600
J	(情報学)	3	—	—	—	—

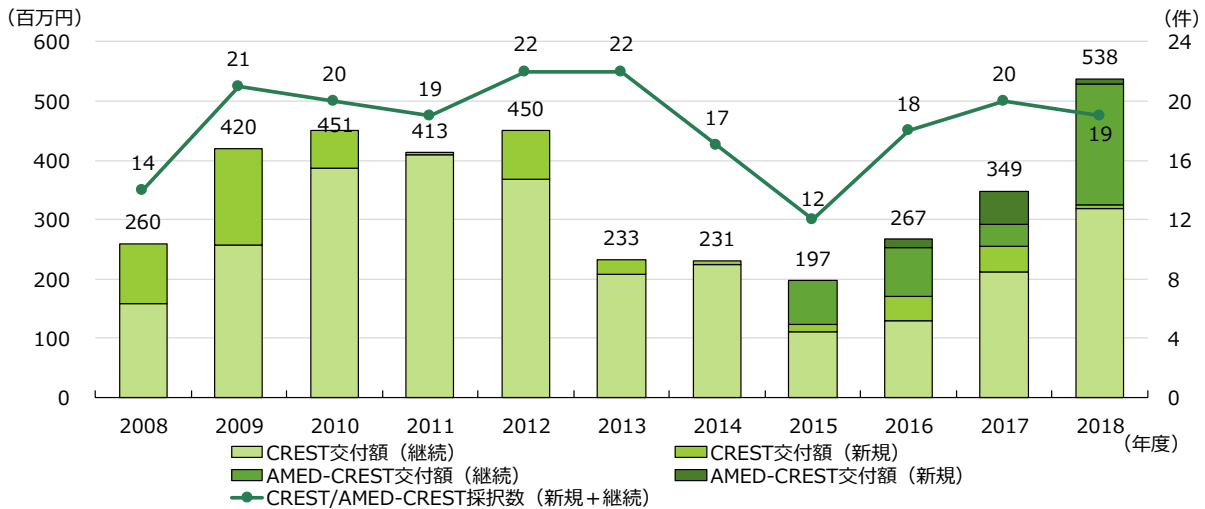
出典：文部科学省「令和元年度科学研究費助成事業の配分について」

※2018年度から2019年度までの科学研究費（新規採択分）のうち、「特別推進研究」、「新学術領域研究」（計画研究及び公募研究）、「基盤研究」（特設分野研究は除く）、「挑戦的萌芽研究」、（特設審査領域を除く）、「若手研究」及び「国際共同研究加速基金（国際共同研究基盤（B））」について分類したもののうち、本学が中区分別採択件数上位10機関にランクインしているものを集計した。（対応する中区分が複数ある小区分については、件数、配分額を按分して集計）

13. 研究プログラムの採択状況

13-1 戦略的創造研究推進事業「CREST」、革新的先端研究開発支援事業「AMED-CREST」

○ 採択件数については、2009年度以降20件前後を保っており、2015年度に一旦落ち込んだものの、2016年度以降は再び同程度となっている。交付額については、2018年度に過去最高となった。



※グラフの「交付額」及び「採択数」には、分担研究分も含む。
 ※2014年度以前のCRESTには、AMED設立に伴い、2015年度以降AMED-CRESTへ承継された課題を含む。

○ 「CREST」

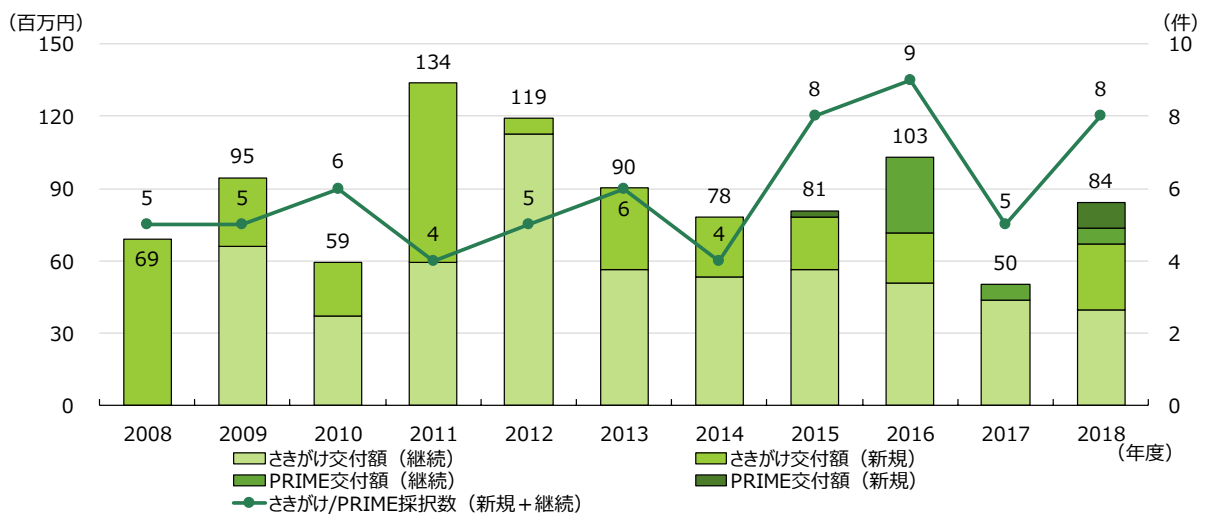
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、国が定める戦略目標の達成に向けて、課題型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究プログラム。

○ 「AMED-CREST」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの創出に向けて国際的に高い水準の成果を目指すユニット型研究プログラム。

13-2 戦略的創造研究推進事業「さきがけ」、革新的先端研究開発支援事業「PRIME」

○ 採択件数については、2017年度に一旦落ち込んだものの、2018年度は3件の新規プログラムを含め、合計8件となり、過去最多となった2016年度に次ぐ件数となった。



※2014年度以前のさきがけには、AMED設立に伴い、2015年度以降PRIMEへ承継された課題を含む。

○ 「さきがけ」

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による、戦略目標に基づいて未来のイノベーションの芽を育む個人型研究プログラム。

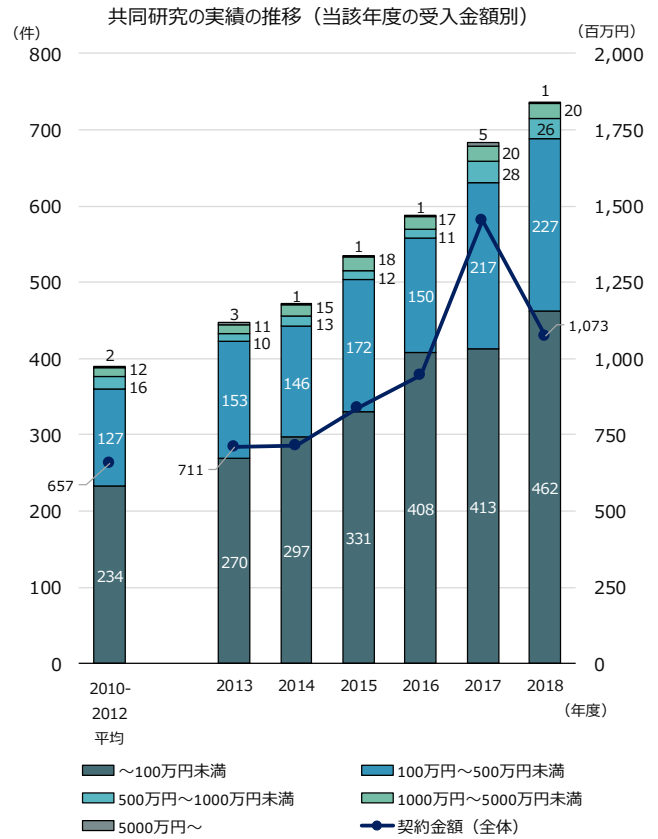
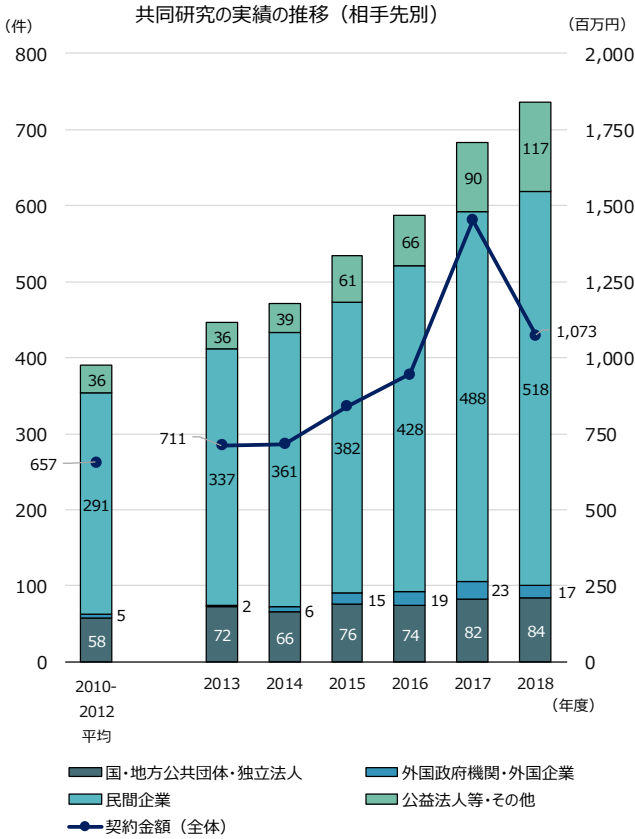
○ 「PRIME」

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による、画期的シーズの源泉となる成果の創出を目指す個人型研究プログラム。

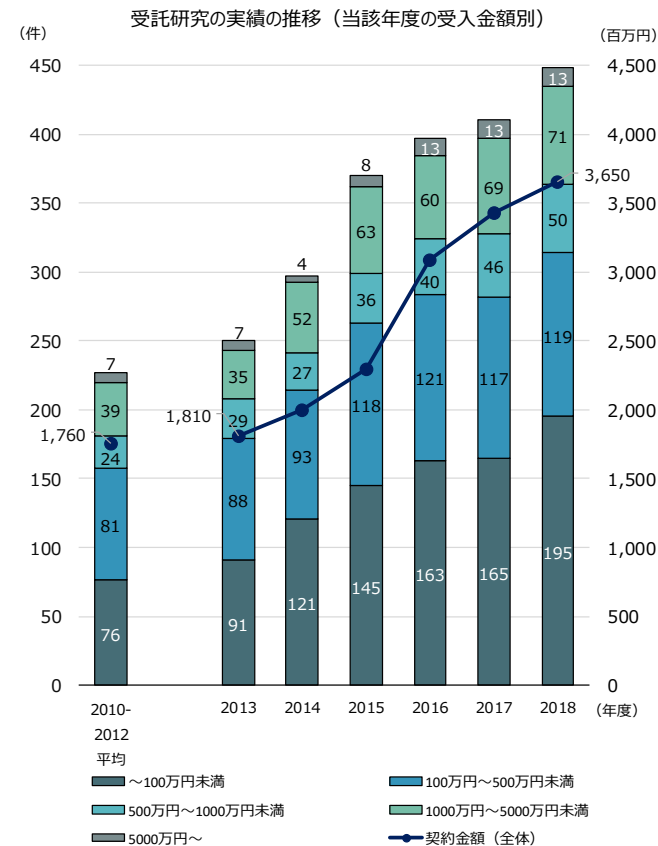
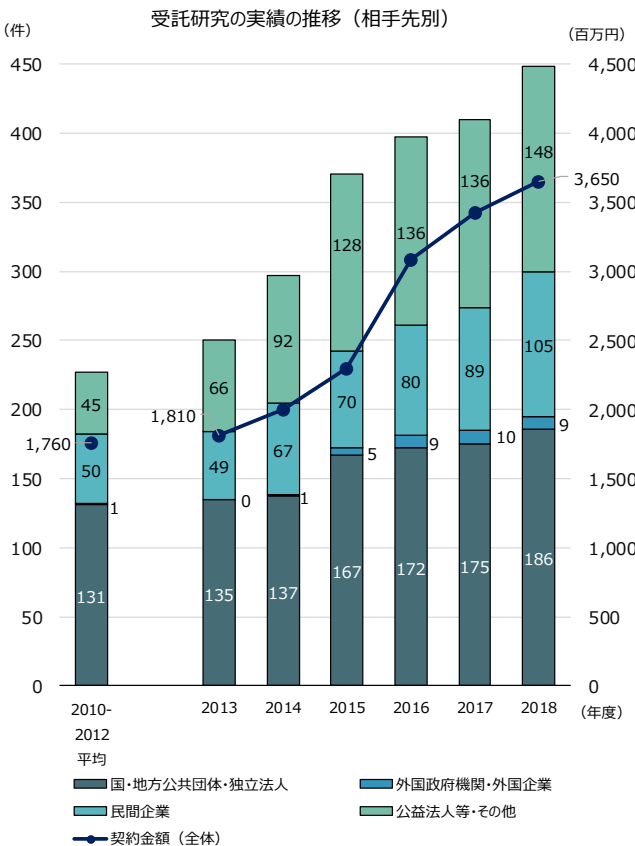
15. 産学官連携状況

15-1 共同研究・受託研究の状況

- 共同研究の件数は各分野で順調に伸びている。
- 共同研究の契約金額は2014年度以降順調に伸びていたが、2018年度は前年度の約0.75倍となっている。

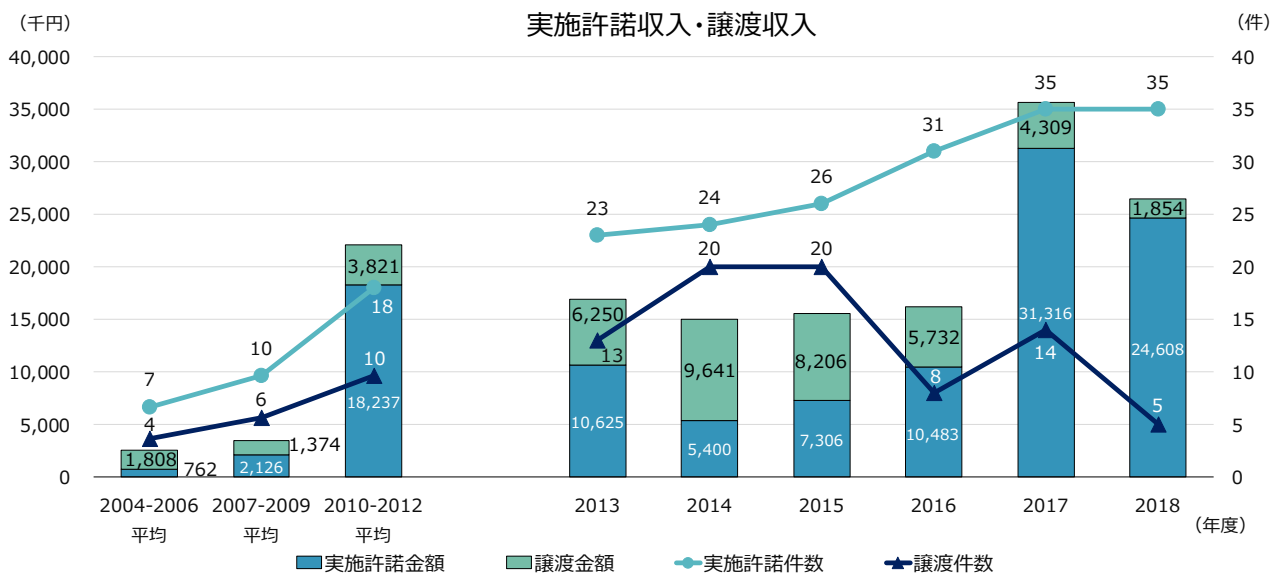
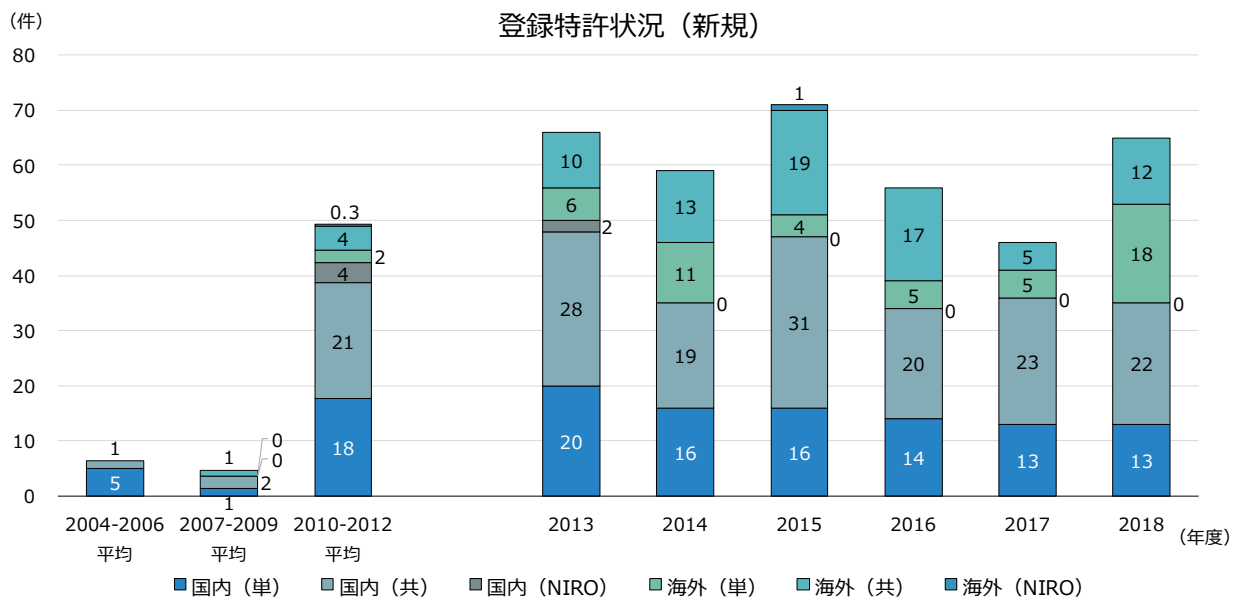
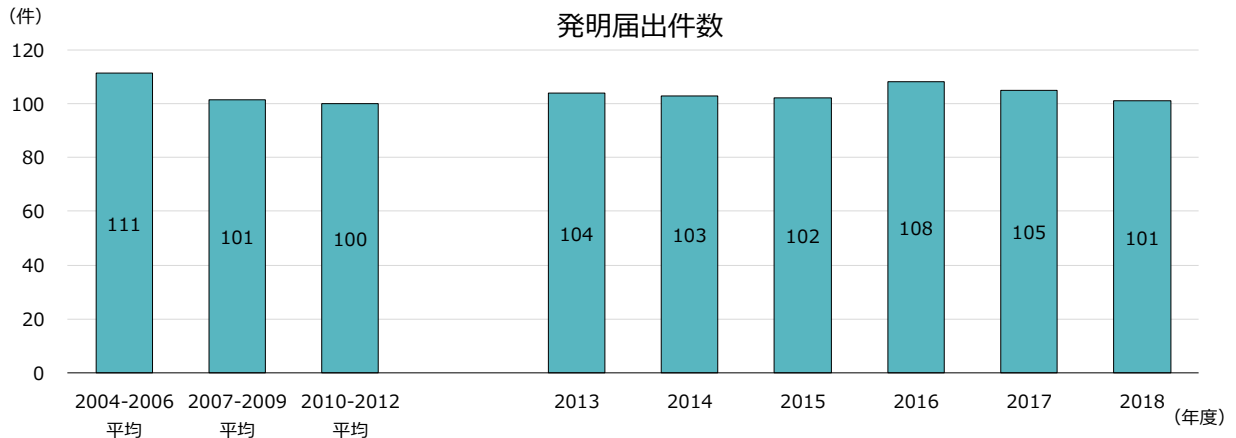


- 2013年度以降順調に伸びており、2010-2012年度平均と比べ、受託研究の件数および受入金額は約2倍となっている。



15-4 神戸大学の知的財産の状況

- 発明届出件数は、過去14年間、100件程度/年を推移している。
- 登録特許は、法人化以降、2011年度まで海外の登録を中心に急増し、その後は安定的に推移している。
- 実施許諾件数は全体的に増加傾向、2018年度の実施許諾金額は約2,400万円であり、前年度から減少した。
- 譲渡件数は2015年度をピークに減少している。



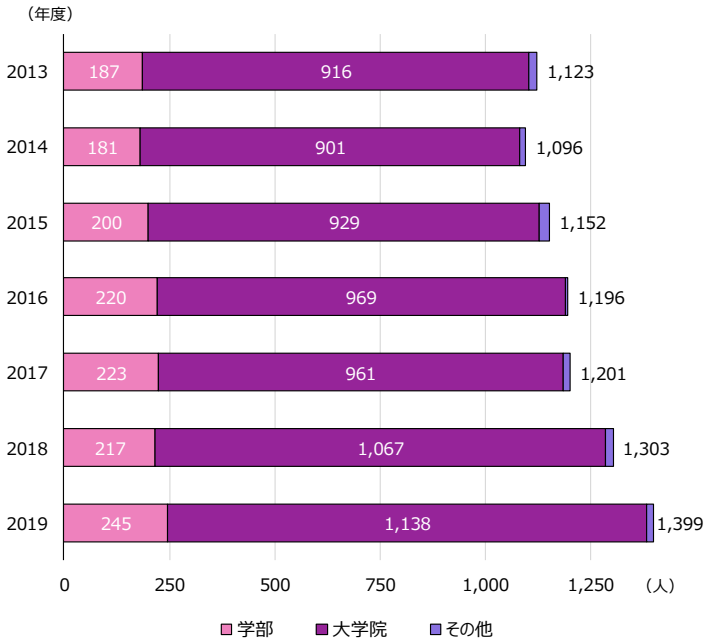
19. 留学

19-1,2 外国人留学生受入れ状況

○ 留学生の受入れについて、2019年度（5月1日時点）は前年度の1,303名を上回り、過去最多となる1,399名を受け入れた。

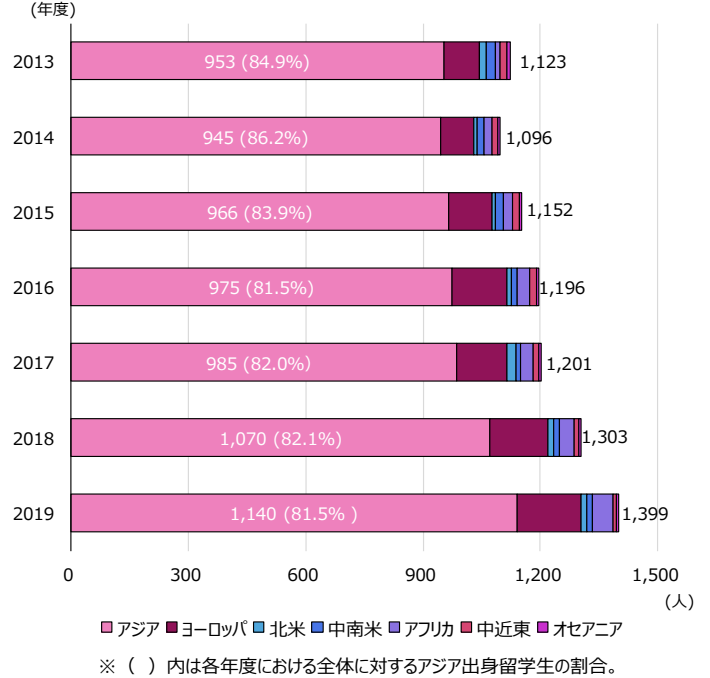
◆在籍段階別◆

留学生の受入れ人数の推移（各年度5月1日現在）



◆地域別◆

留学生の出身地域別割合（各年度5月1日現在）

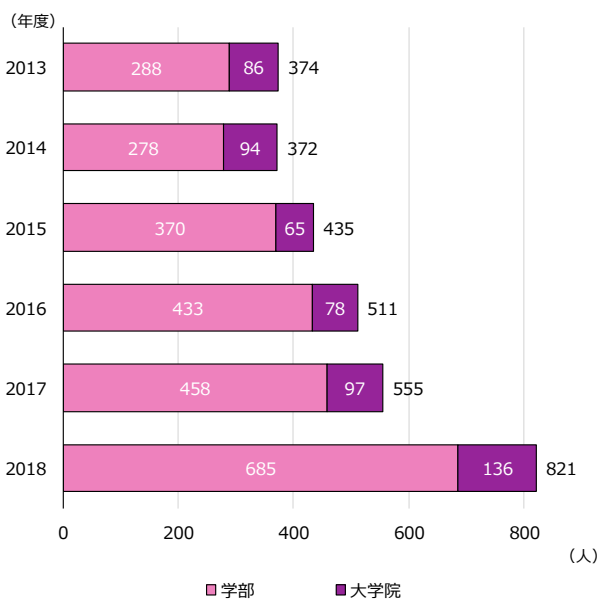


※（ ）内は各年度における全体に対するアジア出身留学生の割合。

19-5,6 学生の海外派遣状況

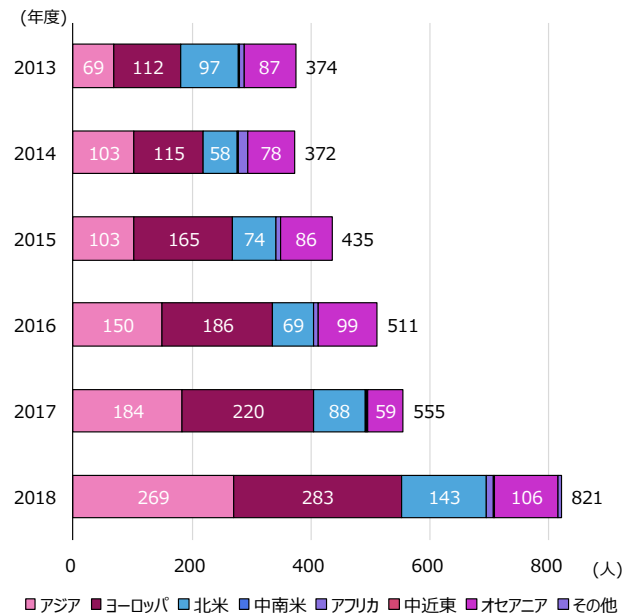
- 本学では学生の海外留学を支援するため、2018年度からグローバル教育管理システムを導入したことにより、留学手続きが以前よりも簡略化され、派遣数が前年度比で約1.5倍増と大幅に伸びた。
- 学生の海外派遣状況を地域別に見ると、ヨーロッパへの派遣比率が比較的高い。これはEUの中心地であるブリュッセルにオフィスを構え、ヨーロッパ諸国との国際連携活動を展開している本学の特徴と言える。

◆在籍段階別◆



※各年度4月1日～3月31日に派遣した人数。
単位授与を伴うプログラムに基づくもの。

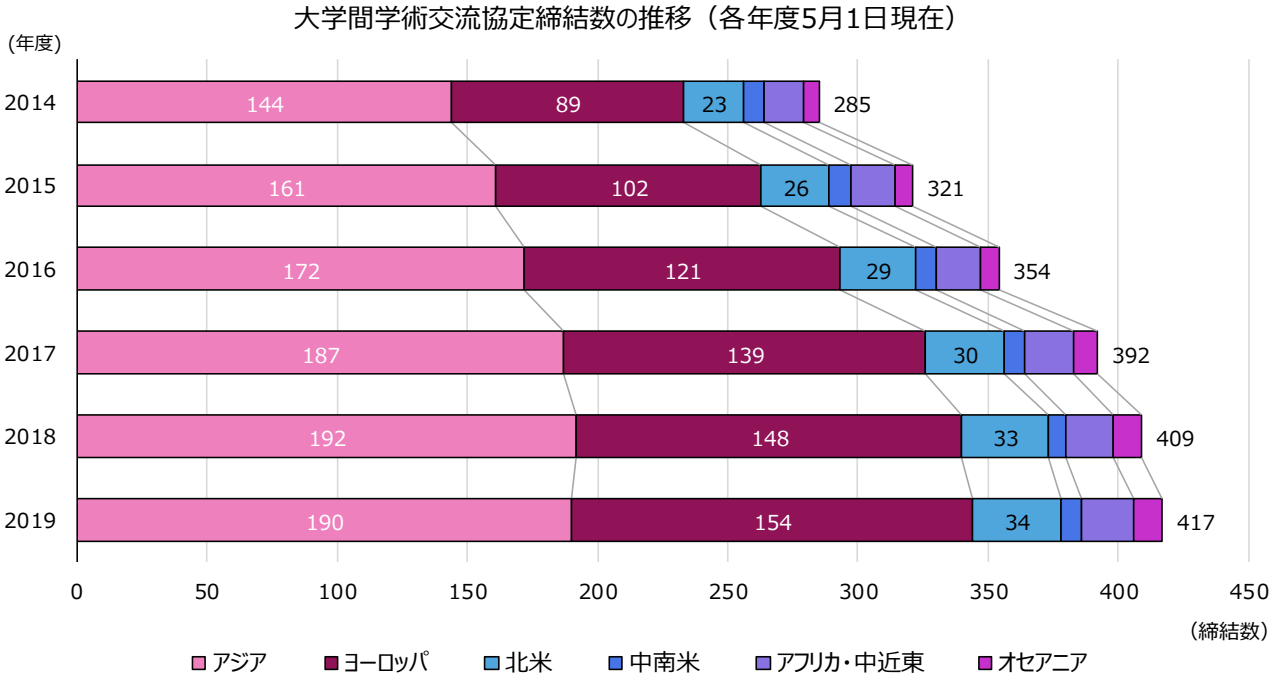
◆地域別◆



20. 海外大学との交流状況

20-1 外国の大学等との学術交流協定の締結状況

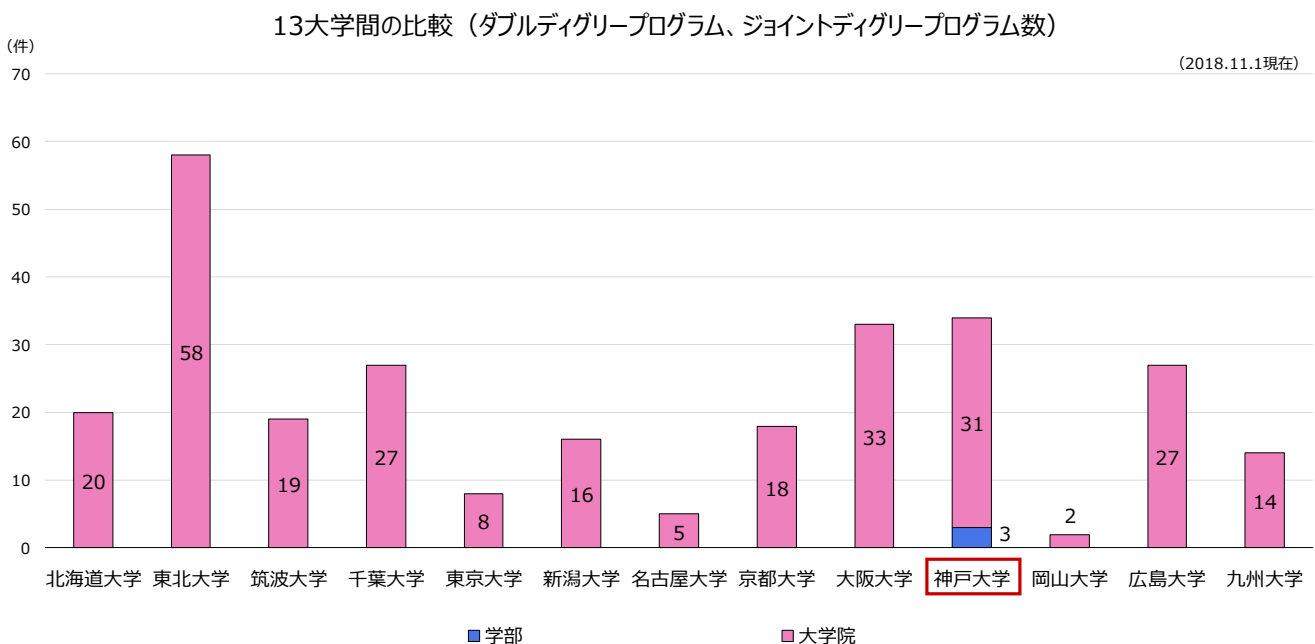
○ 大学間学術交流協定締結数は近年、アジア及びヨーロッパを中心に増加傾向にある。



20-4 ダブルディグリー、ジョイントディグリープログラム

－大規模13大学間の比較－

○ 国立大学で学部入学定員の上位13大学のうち、神戸大学のダブルディグリープログラム、ジョイントディグリープログラム数は学部・大学院を合計すると2位であった。



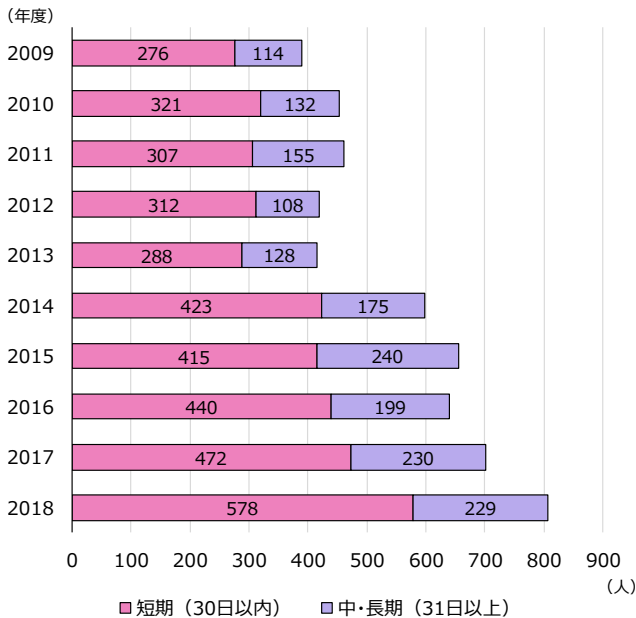
出典：国立大学協会「Study abroad at National Universities in Japan」

21. 研究者等交流状況

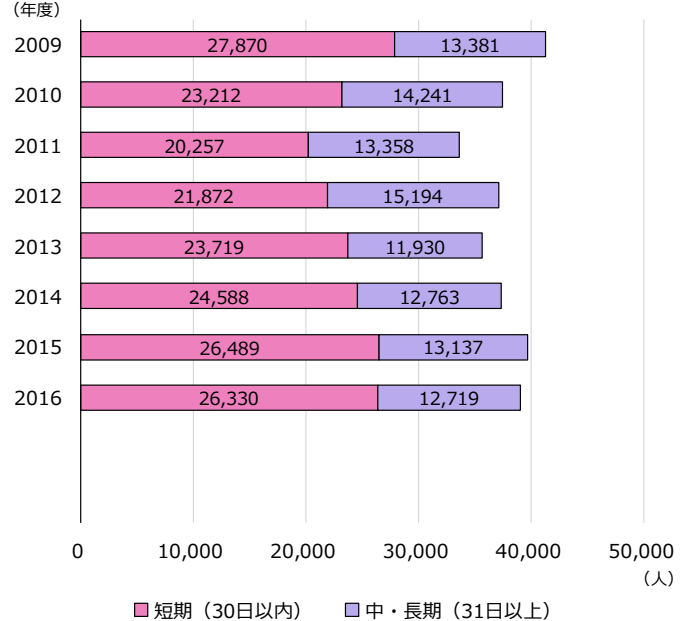
21-1 外国人研究者受入れ数の推移

○ 本学における外国人研究者受入れ数については、2013年度までは毎年400～450名程度を推移していたが、2014年度以降は600～700名程度を推移し、2018年度は800名を超えた。

神戸大学における期間別外国人研究者受入れ数



国公立大学・独立行政法人等の期間別受入れ研究者数

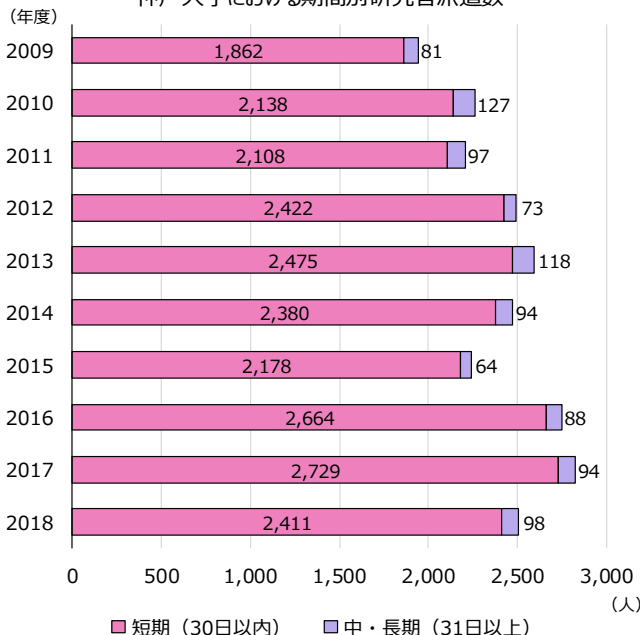


出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

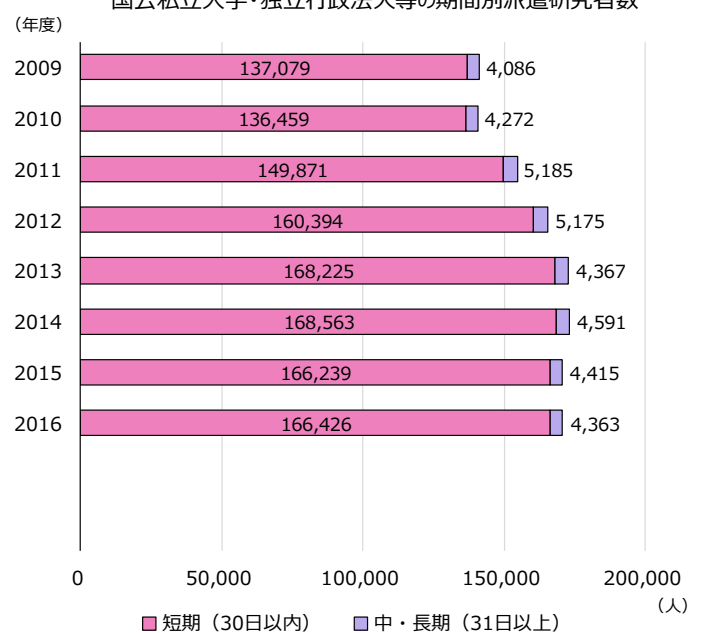
21-2 研究者海外派遣数の推移

- 本学では、「若手教員長期海外派遣制度」により、中・長期派遣研究者数を毎年安定して派遣している。
- 2016年度以降は、短期派遣研究者数が増加したことにより、全体として研究者の海外派遣数は増加し、2017年度は統計を開始した2008年度以降最多となる2,823名を派遣したが、2018年度は若干減少したものの、2,509名を派遣した。

神戸大学における期間別研究者派遣数



国公立大学・独立行政法人等の期間別派遣研究者数



出典 (右) : 文部科学省「国際研究交流の概況」

27. 教員

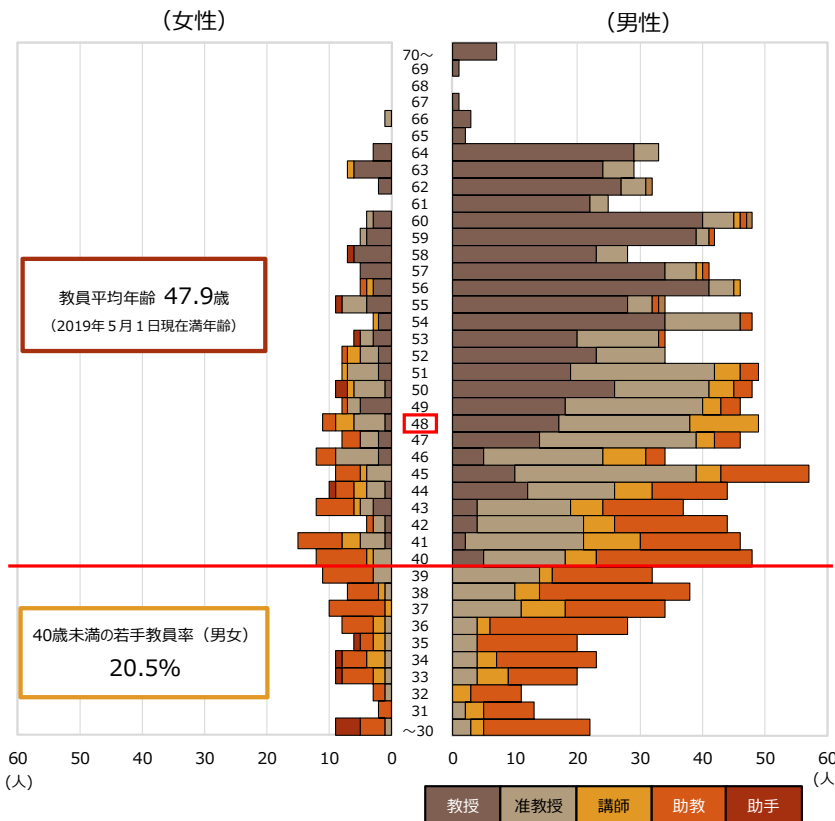
27-2 若手教員・外国人教員・女性教員等の推移等

- 教員の平均年齢は、近年上昇傾向にあり、2010年度から開始した定年延長の影響が現れていると言える。40歳未満の若手教員率は近年減少傾向にあり、2019年度は20.5%となっている。
- 外国人教員については、2017年度より人数が微減している。
- 女性教員については、人数、割合ともに近年緩やかな増加傾向にあったが、2018年度より人数は微減、2019年度は前年度と比べ割合は上昇した。

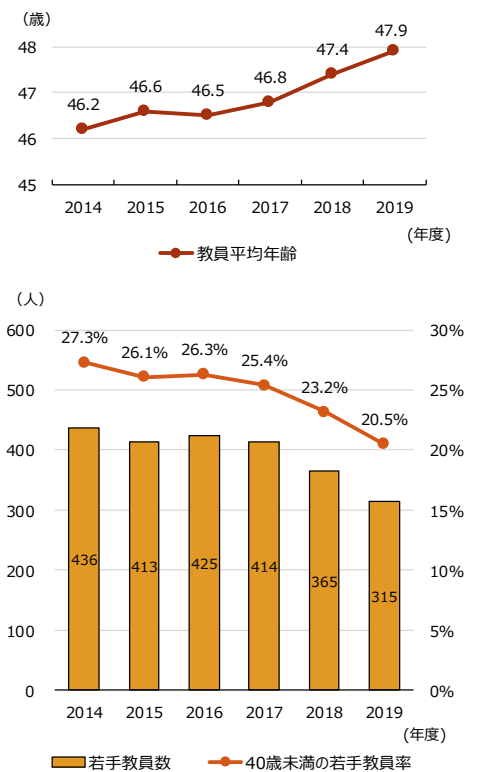
各年度5月1日現在

◆男女別・年齢別・職種別教員数◆ (神戸大学)

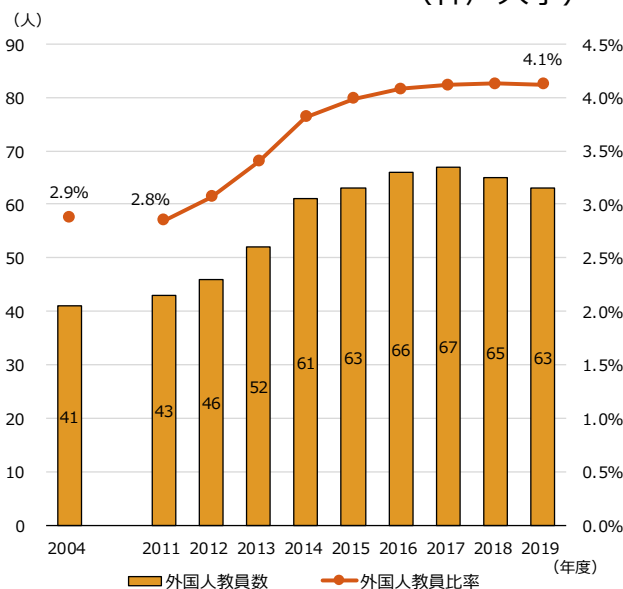
2019年5月1日現在



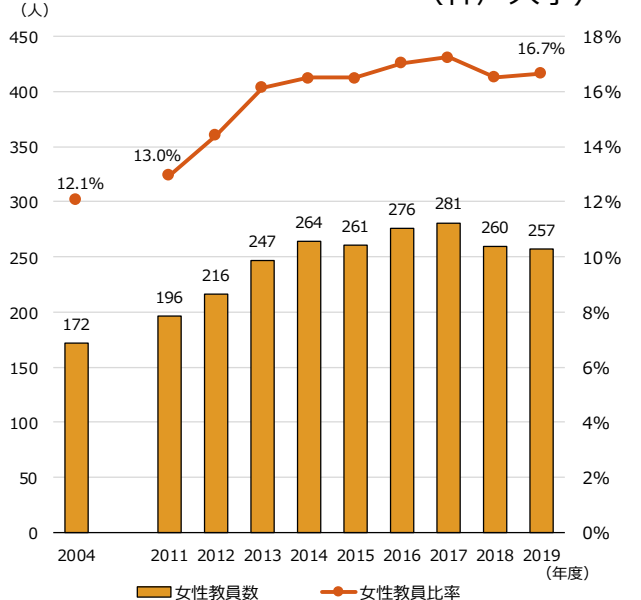
◆教員の平均年齢と若手教員数の推移◆ (神戸大学)



◆外国人教員数・外国人教員比率の推移◆ (神戸大学)



◆女性教員数・女性教員比率の推移◆ (神戸大学)



※2019年5月1日現在の外国人教員の国籍は、中華人民共和国、アメリカ合衆国、大韓民国、ドイツ、オーストラリア、フランス及びイギリス等21の国と地域となっている。

※各教員数に役員・教諭の数は含まない。休職者を含む。

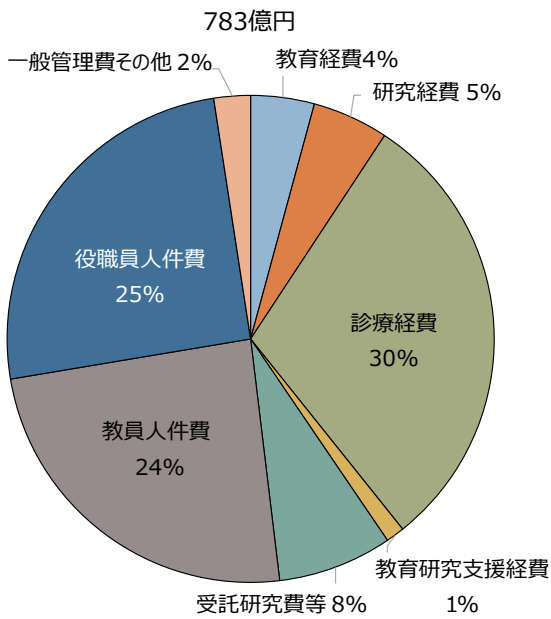
29. 財務

29-2 損益計算書の概要

○ 2004年度と比較すると、附属病院収益の大幅な増加に伴い、診療経費の規模も大きく増加している。

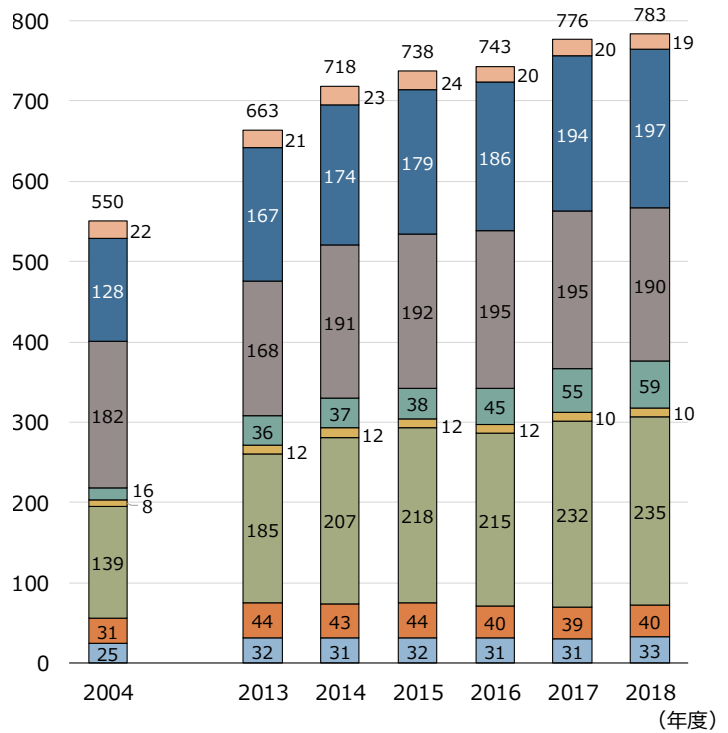


2018年度経常費用の内訳



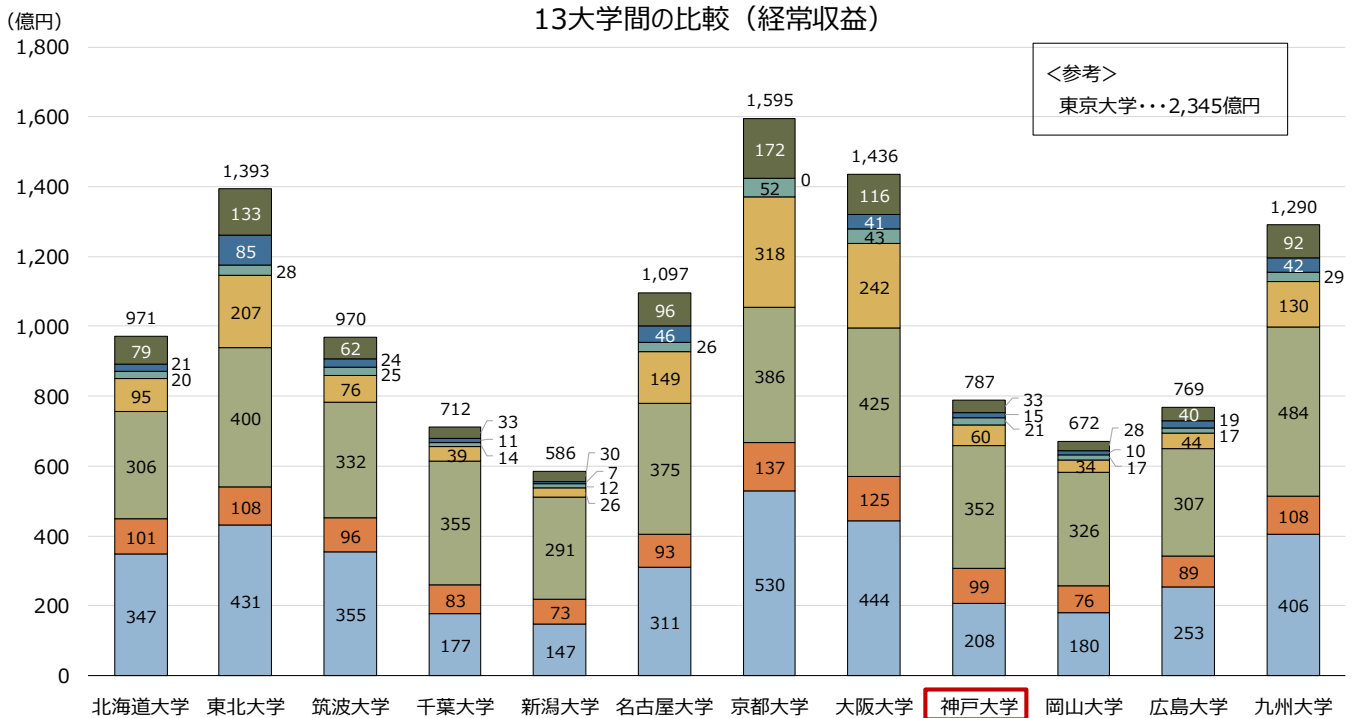
※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならない。

(億円) 経常費用の推移



(2018年度)

13大学間の比較 (経常収益)

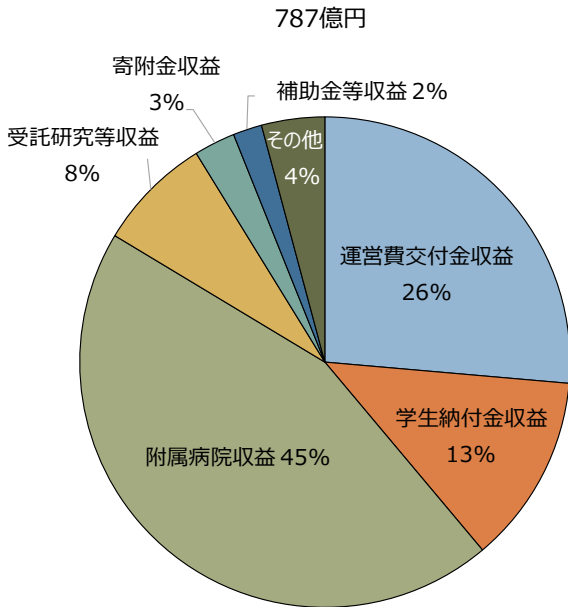


<参考>
東京大学・・・2,345億円

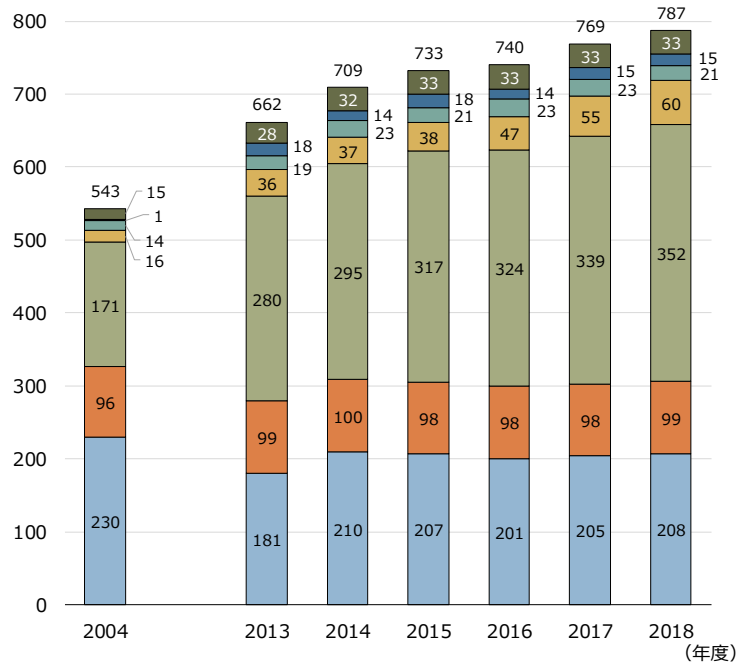
○ 自己財源である附属病院収益や受託研究等収益が増加していることに伴い、経常収益の規模は2004年度に比して1.4倍以上に増加している。



2018年度 経常収益の内訳



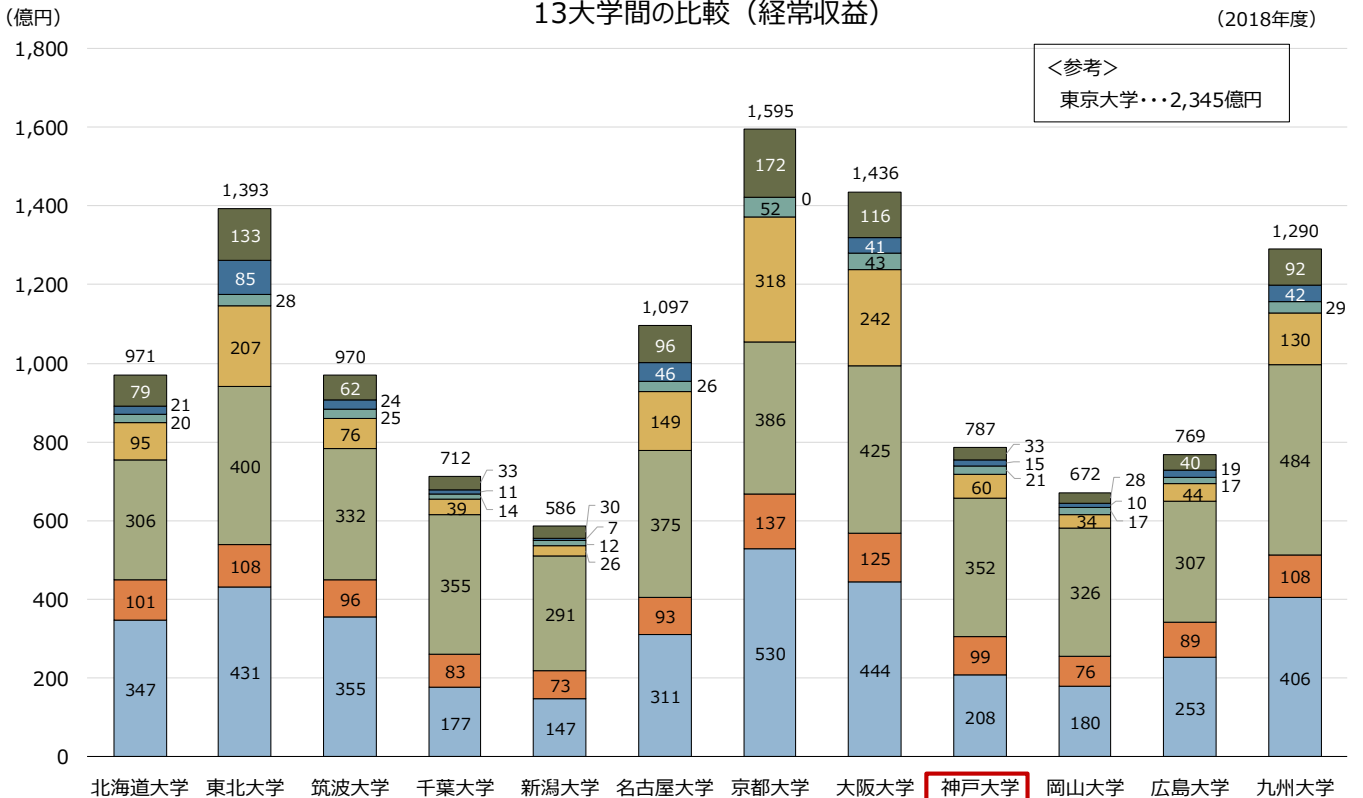
(億円) 経常収益の推移



※小数第一位を四捨五入した数値を掲載しているため、合計が100%にならない。

13大学間の比較 (経常収益)

(2018年度)





神戸大学企画部企画課

2019年11月作成

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

TEL (078) 803-5020